

## 明細書

### 情報処理装置、情報記録媒体、および情報処理方法、並びにコンピュータ・プログラム

#### 技術分野

[0001] 本発明は、情報処理装置、情報記録媒体、および情報処理方法、並びにコンピュータ・プログラムに関する。さらに、詳細には、著作権管理の要求される様々なコンテンツが格納された情報記録媒体のコンテンツ利用において、記録媒体に格納されたコンテンツの細分化されたデータユニット毎の著作権管理および利用管理を実現する情報処理装置、情報記録媒体、および情報処理方法、並びにコンピュータ・プログラムに関する。

#### 背景技術

[0002] 音楽等のオーディオデータ、映画等の画像データ、ゲームプログラム、各種アプリケーションプログラム等、様々なソフトウェアデータ(以下、これらをコンテンツ(Content)と呼ぶ)は、記録メディア、例えば、DVD(Digital Versatile Disc)、MD(Mini Disc)、CD(Compact Disc)にデジタルデータとして格納することができる。また、近年、青色レーザを利用した高密度記録可能なディスクも開発されており、これら様々な情報記録媒体(記録メディア)にデジタルコンテンツが格納され、ユーザに提供される。ユーザは、所有するPC(Personal Computer)、ディスクプレーヤ等の再生装置においてコンテンツの再生、利用を行う。

[0003] 音楽データ、画像データ等、多くのコンテンツは、一般的にその作成者あるいは販売者に頒布権等が保有されている。従って、これらのコンテンツの配布に際しては、一定の利用制限、すなわち、正規なユーザに対してのみ、コンテンツの利用を許諾し、許可のない複製等が行われないようにする構成をとるのが一般的となっている。

[0004] 特に、近年においては、情報をデジタル的に記録する記録装置や記録媒体が普及しつつある。このようなデジタル記録装置および記録媒体によれば、例えば画像や音声を劣化させることなく記録、再生を繰り返すことが可能であり、不正コピーコンテンツのインターネットを介した配信や、コンテンツをCD-R等にコピーした、いわゆる海

JAP20 Res'd PCT/PTO 07 FEB 2006

でコンテンツの送受信を行なう等、ユーザに利便性・快適性を提供するものであり、今後、ますます普及することが予測される。

[0009] このようなネットワーク化が進むことにより、情報記録媒体の格納コンテンツは、ホームネットワークにネットワーク接続された機器からアクセスして利用することが多くなる。上述した、従来の不正コピー防止システムは、例えばライセンスされた1つの再生機においてのみコンテンツ再生を許容する考え方を基本とするものである。従って、ネットワーク接続された機器において、記録媒体を装着した機器、例えばホームサーバあるいはプレーヤに他のネットワーク接続機器、例えばPC、TVなどからアクセスを行い、ネットワークを介してコンテンツを再生する処理についての対応については、十分な考慮がなされてはいなかった。

[0010] 従来は、記録媒体上に格納された1つのコンテンツの利用を1つの再生装置で実行するといった利用形態が主流であったため、コンテンツあるいは再生装置に対してライセンス等のコンテンツ利用権を設定してコンテンツの利用管理を行うことで、十分であったが、情報記録媒体の大容量化、および家庭内の機器のデジタル化・ネットワーク化が進む現代では、過去の構成とは異なるコンテンツの利用管理構成が必要となってきた。具体的に、以下のようないくつかの要求が発生している。

[0011] (1) 記録媒体上に複数のコンテンツを記録し、各コンテンツ毎に異なる利用管理を可能とする構成の実現。

(2) 家庭内ネットワーク等、特定のネットワーク内でのコンテンツの利用、すなわちネットワーク接続機器によるコンテンツ再生、あるいはホームサーバに対するコンテンツコピーなどに付いて許容するコンテンツ利用管理構成の実現。

(3) ネットワーク経由でコンテンツ再生に必要な情報、例えばコンテンツの復号に適用する鍵などを安全に、特定ユーザに配布する構成の実現。

上記、(1)～(3)の構成を実現することが求められている。

## 発明の開示

### 発明が解決しようとする課題

[0012] 本発明は、このような状況に鑑みてなされたものであり、著作権管理の要求される様々なコンテンツが格納された情報記録媒体のコンテンツ利用において、記録媒体

決定可能な構成である。

[0017] さらに、本発明の情報記録媒体の一実施態様において、前記情報記録媒体において設定された少なくとも一部のコンテンツ管理ユニットは、前記情報記録媒体に格納された複数のコンテンツ再生区間指定ファイル各々に対応付けて設定されるユニットであり、情報記録媒体を装着した再生装置において実行するコンテンツ再生処理プログラムによって選択されたコンテンツ再生区間指定ファイルに基づいて唯一のコンテンツ管理ユニット、および対応ユニット鍵が決定可能な構成である。

[0018] さらに、本発明の情報記録媒体の一実施態様において、前記情報記録媒体において設定された少なくとも一部のコンテンツ管理ユニットは、前記情報記録媒体に格納された複数のコンテンツ実データ格納ファイルとしてのクリップファイル各々に対応付けて設定されるユニットであり、情報記録媒体を装着した再生装置において実行するコンテンツ再生処理プログラムによって選択された再生クリップファイルに基づいて唯一のコンテンツ管理ユニット、および対応ユニット鍵が決定可能な構成である。

[0019] さらに、本発明の情報記録媒体の一実施態様において、記情報記録媒体において設定されたコンテンツ管理ユニットは、前記情報記録媒体に格納されたコンテンツ実データを含む第1のユニットと、コンテンツ実データを含まず、情報記録媒体に格納されたアプリケーションインデックスファイルに対するアプリケーション実行ファイルを含む第2のユニットとを含み、前記第1のユニットおよび第2のユニットは、それぞれ異なるユニット鍵によって暗号化処理のなされたデータファイル、またはプログラムファイルの少なくともいずれかを含む構成である。

[0020] さらに、本発明の情報記録媒体の一実施態様において、前記情報記録媒体において設定された少なくとも一部のコンテンツ管理ユニットは、前記情報記録媒体に格納されたアプリケーション実行ファイルおよびコンテンツ再生処理プログラムを含むユニットとして構成されている。

[0021] さらに、本発明の情報記録媒体の一実施態様において、前記情報記録媒体において設定された少なくとも一部のコンテンツ管理ユニットは、前記情報記録媒体に格納されたアプリケーション実行ファイルおよびコンテンツ再生処理プログラム、および前記アプリケーション実行ファイルの実行時に利用されるアプリケーションリソースファ

情報テーブルは、前記動作制御情報の取得用サーバの指定情報を含む構成である

。

- [0031] さらに、本発明の情報記録媒体の一実施態様において、前記情報記録媒体は、オリジナルコンテンツの他に、コピー処理用またはストリーミング再生用コンテンツを格納した構成である。
- [0032] さらに、本発明の情報記録媒体の一実施態様において、前記コピー処理用またはストリーミング再生用コンテンツは、前記オリジナルコンテンツと異なるデータフォーマットを持つ構成である。
- [0033] さらに、本発明の第2の側面は、  
情報記録媒体の格納コンテンツの再生処理を実行する情報処理装置であり、  
情報記録媒体の格納コンテンツまたは格納プログラムから再生または実行対象として選択したデータ領域の含まれるコンテンツ管理ユニットを識別し、識別したコンテンツ管理ユニットに対応するユニット鍵を取得するユニット鍵取得部と、  
前記ユニット鍵取得部において選択したユニット鍵を適用してコンテンツ管理ユニットに含まれる暗号化データの復号処理を実行するデータ処理部と、  
を有する情報処理装置にある。
- [0034] さらに、本発明の情報処理装置の一実施態様において、前記ユニット鍵取得部は、ユニット設定単位情報と、コンテンツ管理ユニット識別情報と、ユニット鍵識別情報とを対応付けた管理テーブルに基づいて、コンテンツ管理ユニットの切り替えを検出し、検出情報に従って、適用ユニット鍵の変更処理を実行する構成である。
- [0035] さらに、本発明の情報処理装置の一実施態様において、さらに、前記コンテンツ管理ユニットに対応して設定され、正当なコンテンツ利用権を有する情報処理装置に格納された鍵によってのみ処理可能な更新鍵情報ブロックの復号により前記ユニット鍵の取得処理を実行する更新鍵情報ブロック処理部を有する構成である。
- [0036] さらに、本発明の情報処理装置の一実施態様において、前記更新鍵情報ブロックは、情報記録媒体から、またはネットワーク接続されたサーバから取得する更新鍵情報ブロックである。
- [0037] さらに、本発明の情報処理装置の一実施態様において、さらに、ネットワーク接続さ

[0043] さらに、本発明の第3の側面は、

情報記録媒体の格納コンテンツの再生または格納プログラムの実行処理を実行する情報処理方法であり、

情報記録媒体の格納コンテンツまたは格納プログラムから再生または実行対象として選択したデータ領域に含まれるコンテンツ管理ユニットを識別するユニット識別ステップと、

識別したコンテンツ管理ユニットに対応するユニット鍵を選択するユニット鍵選択ステップと、

選択したユニット鍵を適用してコンテンツ管理ユニットに含まれる暗号化データの復号処理を実行してコンテンツ再生処理またはプログラム実行処理を行うデータ復号ステップと、

を有する情報処理方法である。

[0044] さらに、本発明の情報処理方法の一実施態様において、前記情報処理方法は、さらに、ユニット設定単位情報と、コンテンツ管理ユニット識別情報と、ユニット鍵識別情報とを対応付けた管理テーブルに基づいて、コンテンツ管理ユニットの切り替えを検出し、検出情報に従って、適用ユニット鍵の変更処理を実行するステップを有する。

[0045] さらに、本発明の情報処理方法の一実施態様において、さらに、前記コンテンツ管理ユニットに対応して設定され、正当なコンテンツ利用権を有する情報処理装置に格納された鍵によってのみ処理可能な更新鍵情報ブロックの復号により前記ユニット鍵の取得処理を実行するステップを含む。

[0046] さらに、本発明の情報処理方法の一実施態様において、前記更新鍵情報ブロックは、情報記録媒体から、またはネットワーク接続されたサーバから取得する更新鍵情報ブロックである。

[0047] さらに、本発明の情報処理方法の一実施態様において、さらに、ネットワーク接続されたサーバとの認証処理を実行し、該認証の成立を条件として、前記サーバから、ユニット鍵を含むコンテンツ再生に必要な情報の取得処理を実行するステップを有する。

[0048] さらに、本発明の情報処理方法の一実施態様において、さらに、前記コンテンツ管

ップと、

識別したコンテンツ管理ユニットに対応するユニット鍵を選択するユニット鍵選択ステップと、

選択したユニット鍵を適用してコンテンツ管理ユニットに含まれる暗号化データの復号処理を実行してコンテンツ再生処理またはプログラム実行処理を行うデータ復号ステップと、

を有するコンピュータ・プログラムにある。

[0054] さらに、本発明の第5の側面は、

情報記録媒体の格納コンテンツの再生を行なう再生装置に対して、コンテンツの復号に適用するユニット鍵の提供処理を実行するサーバであり、

コンテンツ管理ユニットに対応するユニット鍵を格納したデータベースと、

前記再生装置との認証処理を実行する認証処理部と、

前記認証処理部における認証の成立を条件として、ユニット鍵の提供処理を実行するデータ処理部と、

を有するサーバにある。

[0055] さらに、本発明のサーバの一実施態様において、さらに、正当なコンテンツ利用権を有する情報処理装置に格納された鍵によってのみ処理可能な更新鍵情報ブロックであり、認証処理に適用する認証キーを暗号化情報として保持した更新鍵情報ブロックを格納した更新鍵情報ブロックデータベースと、認証キーを格納した認証キーデータベースとを有し、前記認証処理部は、コンテンツ再生を実行する再生装置に対して、前記更新鍵情報ブロックを提供するとともに、前記認証キーデータベースから取得した認証キーを適用した認証処理を実行する構成である。

[0056] なお、本発明のコンピュータ・プログラムは、例えば、様々なプログラム・コードを実行可能なコンピュータ・システムに対して、コンピュータ可読な形式で提供する記憶媒体、通信媒体、例えば、CDやFD、MOなどの記録媒体、あるいは、ネットワークなどの通信媒体によって提供可能なコンピュータ・プログラムである。このようなプログラムをコンピュータ可読な形式で提供することにより、コンピュータ・システム上でプログラムに応じた処理が実現される。

成が実現され、更新されたコピー制御情報を適用するなどの処理が可能となる。

[0061] さらに、本発明の構成によれば、情報記録媒体の格納コンテンツの再生処理を実行する情報処理装置において、情報記録媒体の格納コンテンツから再生対象として選択したデータ領域の含まれるコンテンツ管理ユニットを識別し、識別したコンテンツ管理ユニットに対応するユニット鍵を取得してコンテンツ再生等を実行する場合、ユーザ識別子または再生装置識別子または情報記録媒体識別子に対応したコピー制御情報、再生制御情報などの動作制御情報を外部接続サーバから取得する構成が実現され、ユーザや再生装置などに対応した個別の動作制御に基づく処理を実行することが可能となる。

#### 発明を実施するための最良の形態

[0062] 以下、図面を参照しながら本発明の情報処理装置、情報記録媒体、および情報処理方法、並びにコンピュータ・プログラムの詳細について説明する。以下、以下の記載項目に従って説明を行う。

1. 情報記録媒体の格納データ構成
2. 格納コンテンツ構成例
3. 格納コンテンツの暗号化、利用管理構成
4. ネットワーク独立、接続状態に基づくコンテンツ利用管理
5. ネットワークでのコンテンツコピー管理
6. コンテンツ管理ユニット対応の管理情報
7. 情報記録媒体再生装置の構成例
8. ネットワーク構成例
9. 各処理の実行シーケンス
10. コンテンツ再生における必要情報取得処理

[0063] [1. 情報記録媒体の格納データ構成]

まず、情報記録媒体の格納データ構成について説明する。図1に、本発明の処理の適用可能なコンテンツの格納された情報記録媒体の一例を示す。ここでは、コンテンツ格納済みディスクとしてのROMディスクの情報格納例を示す。

[0064] このROMディスクは、正当なコンテンツ著作権、あるいは頒布権を持ついわゆるコ

Audio-Visual)ストリームファイル261とクリップ情報ファイル251を持つ。

[0070] クリップ情報ファイル251は、AV(Audio-Visual)ストリームファイル261に関する属性情報を格納したデータファイルである。AV(Audio-Visual)ストリームファイル261は例えばMPEG-TS(Moving Picture Experts Group-Transport Stream)データであり、画像(Video)、音声(Audio)、字幕データ等の各情報を多重化したデータ構造となっている。また、再生時に再生装置の制御を行うためのコマンド情報も多重化されている場合がある。

[0071] (C)再生区間指定ファイル(プレイリスト)230は、複数の再生区間指定ファイル(プレイリスト)231, 232, 233を持つ。各再生区間指定ファイル(プレイリスト)231, 232, 233のそれぞれは、クリップ(コンテンツデータファイル)240に含まれる複数のAVストリームデータファイルのいずれかを選択し、また選択したAVストリームデータファイルの特定のデータ部分を、再生開始点と再生終了点として指定するプレイアイテムを1つ以上持つ構成となっており、1つの再生区間指定ファイル(プレイリスト)を選択することで、その再生区間指定ファイル(プレイリスト)の持つプレイアイテムに従って、再生シーケンスが決定されて再生が実行される。

[0072] 例えば再生区間指定ファイル(プレイリスト)231を選択してコンテンツ再生を行うと、再生区間指定ファイル(プレイリスト)231に対応付けられたプレイアイテム234は、クリップ241に再生開始点aと再生終了点bを持ち、また、プレイアイテム235は、クリップ241に再生開始点cと再生終了点dを持つので、再生区間指定ファイル(プレイリスト)231を選択してコンテンツ再生を行うと、クリップ241に含まれるコンテンツであるAVストリームファイル261の特定データ領域、a～bとc～dが再生されることになる。

[0073] (B)再生プログラム(ムービーオブジェクト)220は、複数のムービーオブジェクトとしての再生プログラム221～224を有する。各再生プログラム221～224は、再生する再生区間指定ファイル(プレイリスト)の指定のほか、ユーザから入力されるコンテンツ再生処理に関する操作情報に対する応答、タイトル間のジャンプ、再生シーケンスの分岐など、再生コンテンツ(HDムービーコンテンツ)の提示に必要な機能をプログラムに提供するコンテンツ再生処理プログラムである。各再生プログラム221～224は、相互にジャンプ可能であり、ユーザの入力、あるいはあらかじめ設定されたプロ

[0079] また、再生プログラム321～323は、情報記録媒体に格納された、あるいはネットワーク接続されたサーバから取得可能な様々なデータファイル、例えばJPEG, PNG, BMPなどの画像ファイル331、PCM、圧縮Audioなどの音声ファイル332、テキスト、データベースなどの各種データファイル333を読み出して、処理を実行し、ディスプレイ、スピーカを介して出力する処理を実行するプログラムも含まれる。

[0080] これらの再生プログラム321～323は例えばゲームプログラム、WEB提示プログラムなど、プログラムのカテゴリに応じた様々な構成を持つ。

[0081] [3. 格納コンテンツの暗号化、利用管理構成]

次に、図4以下を参照して、情報記録媒体に格納されたコンテンツを区分して、区分コンテンツ毎に異なる利用制御を実現するコンテンツ管理構成について説明する。

[0082] 本発明においては、区分コンテンツ毎の異なる利用制御を実現する基本構成として、区分コンテンツ毎に異なる鍵(ユニット鍵)を割り当てる。1つのユニット鍵を割り当てる単位をコンテンツ管理ユニット(CPSユニット)と呼ぶ。

[0083] それぞれのユニット鍵を適用して各ユニットに属するコンテンツを暗号化し、コンテンツ利用に際しては、各ユニットに割り当てられた鍵を取得して再生を行う。各ユニット鍵は、個別に管理することが可能であり、例えばあるユニットAに対して割り当てるユニット鍵は、情報記録媒体から取得可能な鍵として設定する。また、ユニットBに対して割り当てるユニット鍵は、ネットワーク接続されるサーバにアクセスし、ユーザが所定の手続きを実行したことを条件として取得することができる鍵とするなど、各ユニット対応の鍵の取得、管理構成は、各ユニット鍵に独立した態様とすることができる。

[0084] 1つの鍵を割り当てる単位、すなわち、コンテンツ管理ユニット(CPSユニット)の設定態様には、複数の態様がある。これら複数の態様について、以下、順次説明する。

[0085] (a) タイトルベースのユニット設定構成

まず、図4を参照してタイトルベースでコンテンツ管理ユニット(CPSユニット)を構成した例について説明する。図4は、先に図2を参照して説明した高精細動画像データであるHD(High Definition)ムービーコンテンツのデータフォーマットに対応する例である。

[0095] これらの制限を設定することにより、1つのコンテンツ管理ユニット(CPSユニット)に属するタイトルを再生している間はユニット鍵の変更は起こらない。その結果タイトル内でAVストリームを連續に再生する際シームレスな接続が容易となる。

[0096] なお、タイトルはユーザに見える情報であるため、後に述べるようにコンテンツ管理ユニット(CPSユニット)単位で鍵の配信、コンテンツ管理などを行う場合に、ユーザへの説明やコンテンツ管理がしやすいという利点がある。

[0097] 図4を参照してタイトルベースでコンテンツ管理ユニット(CPSユニット)を構成し、上制限事項を満足した例について説明する。図4において、タイトル1, 211、タイトル2, 212は、コンテンツ管理ユニット(CPSユニット)1, 411に属する。

[0098] タイトル1, 211、タイトル2, 212の選択によって、まず実行される再生プログラム(ムービーオブジェクト)は、再生プログラム221～223のいずれかである。これらの再生プログラム(ムービーオブジェクト)221～223は、コンテンツ管理ユニット(CPSユニット)1, 411に属するAVストリームファイル、すなわち、図では、クリップ241, 242に含まれるAVストリームファイル261, 262のみを再生するコマンドを含み、他のコンテンツ管理ユニット(CPSユニット)、例えば、コンテンツ管理ユニット(CPSユニット)2, 412に属するAVストリームファイル、すなわち、クリップ243に含まれるAVストリームファイル263の再生コマンドを含んではならない。

[0099] 再生プログラム221～223は、いずれも、同一のコンテンツ管理ユニット(CPSユニット)1, 411に属する再生区間指定ファイル(プレイリスト)231, 232と、同一のコンテンツ管理ユニット(CPSユニット)1, 411に属するクリップ241, 242にのみ対応付けられ、同一のコンテンツ管理ユニット(CPSユニット)1, 411に属する再生プログラム(ムービーオブジェクト)の間では、相互にジャンプしたとしても、その再生プログラム(ムービーオブジェクト)の実行によって再生対象となるコンテンツは、同一のコンテンツ管理ユニット(CPSユニット)1, 411に属するクリップ241, 242のみであり、同一のユニット鍵Ku1を有している限り、再生が可能であり、再生が不可能になるなどの問題が発生しない。

[0100] しかし、再生プログラム221～223のいずれかが、他のコンテンツ管理ユニット(CPSユニット)、例えば、コンテンツ管理ユニット(CPSユニット)2, 412に属するAVストリーム

コンテンツ管理ユニット識別情報と、ユニット鍵識別情報とを対応付けた管理テーブルである。各タイトルに対応するコンテンツ管理ユニットの識別情報としてのユニット識別子(CPS1, CPS2...)と、対応ユニット鍵の識別子(Ku1, Ku2, ...)とを対応づけたテーブルとして構成される。この管理テーブルは、実際のユニット鍵データを格納したものではない。実際にコンテンツの暗号化、復号に適用するユニット鍵は、所定のユニット鍵取得処理によって取得される。このユニット鍵の取得処理については後述する。

- [0107] 統括再生制御プログラムは、タイトルの切り替えによって、コンテンツ管理ユニット(CPSユニット)の切り替えが発生したことを検知すると、コンテンツ管理ユニット(CPSユニット)の切り替えによって適用する鍵の切り替えを行う。あるいは鍵の取得が必要であることのメッセージ表示などの処理を実行する。
- [0108] コンテンツ再生処理を実行している再生装置のメモリに、コンテンツ管理ユニット(CPSユニット)1, 411の鍵Ku1と、コンテンツ管理ユニット(CPSユニット)2, 412の鍵Ku2とが格納済みである場合には、コンテンツ再生処理を統括的に制御する統括再生制御プログラムは、タイトルの切り替えによって、コンテンツ管理ユニット(CPSユニット)の切り替えが発生したことを検知すると、コンテンツ管理ユニット(CPSユニット)の切り替えによって、適用する鍵の切り替え、例えばKu1→Ku2の切り替えを行う。
- [0109] また、コンテンツ再生処理を実行している再生装置のメモリに、コンテンツ管理ユニット(CPSユニット)1, 411の鍵Ku1のみが格納され、コンテンツ管理ユニット(CPSユニット)2, 412の鍵Ku2が格納されていない場合、コンテンツ再生処理を統括的に制御する統括再生制御プログラムは、タイトルの切り替えによって、コンテンツ管理ユニット(CPSユニット)2, 412への切り替えが発生したことを検知した場合は、鍵の取得が必要であることのメッセージ表示などの処理を実行する。
- [0110] (b) アプリケーションインデックスベースのユニット設定構成  
次に、図6を参照してアプリケーションインデックスベースでコンテンツ管理ユニット(CPSユニット)を構成した例について説明する。
- [0111] 図4を参照して説明した例は、さきに、図2を参照して説明した高精細動画像データであるHD(High Definition)ムービーコンテンツのデータフォーマットに対応する例で

ばJPEG, PNG, BMPなどの画像ファイル331、PCM、圧縮Audioなどの音声ファイル332、テキスト、データベースなどの各種データファイル333を読み出して、処理を実行し、ディスプレイ、スピーカを介して出力する処理を実行するプログラムも含まれ、これらの読み出し対象となるデータファイル、すなわち、画像ファイル331、音声ファイル332、データファイル333についても、特定のコンテンツ管理ユニット(CPSユニット)2, 412に含まれ、データファイルもユニット鍵Ku2によって暗号化されたデータとして設定される。

[0120] この方法を適用する場合に各階層において必要な制限事項は、図4を参照して説明したタイトルベースのユニット設定の場合とほぼ同様であり、タイトルをアプリケーションインデックスとして置き換えた場合と同様の制限となる。すなわち、

(1) アプリケーションインデックスが属するコンテンツ管理ユニット(CPSユニット)に含まれないAVストリームファイルの再生はできない。つまり、アプリケーションインデックスの選択によって実行される再生プログラム(オブジェクト)はそのアプリケーションインデックスが属するコンテンツ管理ユニット(CPSユニット)に含まれるAVストリームファイルのみの再生コマンドを含む。

(2) 再生区間指定ファイル(プレイリスト)は複数の異なるクリップを参照することができるが、参照するクリップは1つのコンテンツ管理ユニット(CPSユニット)に含まれるクリップに限られる。

[0121] これらの制限を設定することにより、1つのコンテンツ管理ユニット(CPSユニット)に属するアプリケーションインデックスの対応データの再生をしている間はユニット鍵の変更は起こらない。その結果、1つのアプリケーションインデックス内でAVストリームを連続に再生する際シームレスな接続が容易となる。

[0122] アプリケーションインデックスも、タイトルと同様、ユーザに見える情報であるため、コンテンツ管理ユニット(CPSユニット)単位で鍵の配信、コンテンツ管理などを行う場合に、ユーザへの説明やコンテンツ管理がしやすいという利点がある。

[0123] 図4を参照して説明したと同様、本例においても、コンテンツ再生処理を統括的に制御する統括再生制御プログラムが存在する。統括再生制御プログラムは、コンテンツ再生の統括的制御を行う。具体的には、コンテンツ管理ユニット(CPSユニット)の

3に対応して設定される管理ユニットであり、コンテンツ管理ユニット(CPSユニット)2, 422は、再生プログラム224に対応して設定される管理ユニットである。

- [0130] コンテンツ管理ユニット(CPSユニット)1, 421は、クリップ241と、クリップ242が含まれ、これらの2つのクリップ241, 242に含まれるコンテンツの実データであるAVストリームデータファイル261, 262がコンテンツ管理ユニット(CPSユニット)1, 421に対応付けて設定される暗号鍵Ku1を適用して暗号化される。
- [0131] コンテンツ管理ユニット(CPSユニット)2, 422は、クリップ243が含まれ、このクリップ243に含まれるコンテンツの実データであるAVストリームデータファイル263がコンテンツ管理ユニット(CPSユニット)2, 422に対応付けて設定される暗号鍵Ku2を適用して暗号化される。
- [0132] ユーザは、いずれかのタイトルを選択してコンテンツ再生を実行する場合、実際に起動する再生プログラムに応じて、コンテンツ管理ユニット(CPSユニット)が決定することになり、決定したコンテンツ管理ユニット(CPSユニット)に対応するユニット鍵を持つ場合に限りコンテンツの復号、再生が可能となる。
- [0133] この方法を適用する場合に各階層において必要な制限を説明する。先のタイトルベースのユニット設定例と異なり、タイトルはコンテンツ管理ユニット(CPSユニット)と無関係である。1つのタイトルは記録媒体中の任意のAVストリームを再生するよう作成することができる。しかし、以下の制限事項が存在する。すなわち、
- [0134] (1)再生プログラム(ムービーオブジェクト)はその再生プログラム(ムービーオブジェクト)が属するコンテンツ管理ユニット(CPSユニット)に含まれないAVストリームファイルを再生するコマンドを含んではならない。
- [0135] (2)再生区間指定ファイル(プレイリスト)は複数のクリップを参照することができるが、参照するクリップは1つのコンテンツ管理ユニット(CPSユニット)に含まれるクリップに限られる。
- [0136] 以上より、タイトル再生中にコンテンツ管理ユニット(CPSユニット)の変化が可能で、変化した場合はユニット鍵の変更が発生する。同一の再生プログラム(ムービーオブジェクト)を実行中はユニット鍵の変化はないため、その間AVストリームを連續に再生する際シームレスな接続が容易となる。

ユニット(CPSユニット)の切り替えが発生したことを検知した場合は、コンテンツ管理ユニット(CPSユニット)の切り替えによって、適用する鍵の切り替え、すなわちKu1→Ku2の切り替えを行う。

- [0143] また、コンテンツ再生処理を実行している再生装置に、コンテンツ管理ユニット(CPSユニット)1, 421の鍵Ku1のみが格納され、コンテンツ管理ユニット(CPSユニット)2, 422の鍵Ku2が格納されていない場合、コンテンツ再生処理を統括的に制御する統括再生制御プログラムは、再生プログラム(ムービーオブジェクト)の切り替えによって、コンテンツ管理ユニット(CPSユニット)2, 422への切り替えが発生したことを検知した場合は、鍵の取得が必要であるとのメッセージ表示などの処理を実行する。
- [0144] (d) 再生区間指定ファイル(プレイリスト)ベースのユニット設定構成  
次に、図10を参照して再生区間指定ファイル(プレイリスト)ベースでコンテンツ管理ユニット(CPSユニット)を構成した例について説明する。
- [0145] この場合、コンテンツ管理ユニットは、再生区間指定ファイル(プレイリスト)231～233の個々のプレイリストに対応付けて設定される。
- [0146] 図10中、コンテンツ管理ユニット(CPSユニット)1, 431は、再生区間指定ファイル(プレイリスト)231～232に対応して設定される管理ユニットであり、コンテンツ管理ユニット(CPSユニット)2, 432は、再生区間指定ファイル(プレイリスト)233に対応して設定される管理ユニットである。
- [0147] コンテンツ管理ユニット(CPSユニット)1, 431は、クリップ241と、クリップ242が含まれ、これらの2つのクリップ241, 242に含まれるコンテンツの実データであるAVストリームデータファイル261, 262がコンテンツ管理ユニット(CPSユニット)1, 431に対応付けて設定される暗号鍵Ku1を適用して暗号化される。
- [0148] コンテンツ管理ユニット(CPSユニット)2, 432は、クリップ243が含まれ、このクリップ243に含まれるコンテンツの実データであるAVストリームデータファイル263がコンテンツ管理ユニット(CPSユニット)2, 432に対応付けて設定される暗号鍵Ku2を適用して暗号化される。
- [0149] ユーザは、いずれかのタイトルを選択してコンテンツ再生を実行する場合、実際に起動する再生プログラムに応じて選択される再生区間指定ファイル(プレイリスト)によ

理テーブルに基づく管理を行う。

- [0156] 統括再生制御プログラムは、再生区間指定ファイル(プレイリスト)の切り替えによって、コンテンツ管理ユニット(CPSユニット)の切り替えが発生したことを検知すると、コンテンツ管理ユニット(CPSユニット)の切り替えによって適用する鍵の切り替えを行う。あるいは鍵の取得が必要であるとのメッセージ表示などの処理を実行する。
- [0157] コンテンツ再生処理を実行している再生装置に、コンテンツ管理ユニット(CPSユニット)1, 431の鍵Ku1と、コンテンツ管理ユニット(CPSユニット)2, 432の鍵Ku2とが格納されている場合、コンテンツ再生処理を統括的に制御する統括再生制御プログラムは、再生区間指定ファイル(プレイリスト)の切り替えによって、コンテンツ管理ユニット(CPSユニット)の切り替えが発生したことを検知した場合は、コンテンツ管理ユニット(CPSユニット)の切り替えによって、適用する鍵の切り替え、すなわちKu1→Ku2の切り替えを行う。
- [0158] また、コンテンツ再生処理を実行している再生装置に、コンテンツ管理ユニット(CPSユニット)1, 431の鍵Ku1のみが格納され、コンテンツ管理ユニット(CPSユニット)2, 432の鍵Ku2が格納されていない場合、コンテンツ再生処理を統括的に制御する統括再生制御プログラムは、再生区間指定ファイル(プレイリスト)の切り替えによって、コンテンツ管理ユニット(CPSユニット)2, 432への切り替えが発生したことを検知した場合は、鍵の取得が必要であるとのメッセージ表示などの処理を実行する。
- [0159] (e) AVストリームファイルベースのユニット設定構成  
次に、図12を参照してAVストリームファイルベースでコンテンツ管理ユニット(CPSユニット)を構成した例について説明する。AVストリームファイルベースは、クリップ単位と同様の意味である。
- [0160] この場合、コンテンツ管理ユニットは、クリップ241～243に対応付けて設定される。
- [0161] 図12中、コンテンツ管理ユニット(CPSユニット)1, 441は、クリップ241～242に対応して設定される管理ユニットであり、コンテンツ管理ユニット(CPSユニット)2, 442は、クリップ243に対応して設定される管理ユニットである。
- [0162] コンテンツ管理ユニット(CPSユニット)1, 441は、クリップ241と、クリップ242が含まれ、これらの2つのクリップ241, 242に含まれるコンテンツの実データであるAVス

[0168] 統括再生制御プログラムは、クリップの切り替えによって、コンテンツ管理ユニット(CPSユニット)の切り替えが発生したことを検知すると、コンテンツ管理ユニット(CPSユニット)の切り替えによって適用する鍵の切り替えを行う。あるいは鍵の取得が必要であることのメッセージ表示などの処理を実行する。

[0169] コンテンツ再生処理を実行している再生装置に、コンテンツ管理ユニット(CPSユニット)1, 441の鍵Ku1と、コンテンツ管理ユニット(CPSユニット)2, 442の鍵Ku2とが格納されている場合、コンテンツ再生処理を統括的に制御する統括再生制御プログラムは、クリップの切り替えによって、コンテンツ管理ユニット(CPSユニット)の切り替えが発生したことを検知した場合は、コンテンツ管理ユニット(CPSユニット)の切り替えによって、適用する鍵の切り替え、すなわちKu1→Ku2の切り替えを行う。

[0170] また、コンテンツ再生処理を実行している再生装置に、コンテンツ管理ユニット(CPSユニット)1, 441の鍵Ku1のみが格納され、コンテンツ管理ユニット(CPSユニット)2, 442の鍵Ku2が格納されていない場合、コンテンツ再生処理を統括的に制御する統括再生制御プログラムは、クリップの切り替えによって、コンテンツ管理ユニット(CPSユニット)2, 442への切り替えが発生したことを検知した場合は、鍵の取得が必要であることのメッセージ表示などの処理を実行する。

[0171] (f) アプリケーションと、コンテンツとを独立したCPSユニットとした構成  
次に、図14を参照してアプリケーションと、コンテンツとを独立したCPSユニットとした構成例について説明する。

[0172] 図14に示すように、上位の(A')アプリケーション300は、タイトルに相当するアプリケーションインデックスファイルと、再生プログラムファイルとの混在層として構成される。この構成は、先に、図6を参照して説明した構成と同様の構成である。

[0173] コンテンツ管理ユニット(CPSユニット)は、  
上位の(A')アプリケーション(インデックス+再生プログラム)300と、  
下位の(C)再生区間指定ファイル(プレイリスト)+(D)クリップ(コンテンツデータファイル)  
の上位層と下位層それぞれ独立したユニットとして設定される。

[0174] 図14中、コンテンツ管理ユニット(CPSユニット)1, 451、およびコンテンツ管理ユ

に対応付けられた再生プログラム323によって構成されるアプリケーションと、さらに、再生プログラム323によって情報記録媒体、あるいはネットワーク接続サーバから取得可能な様々なデータファイル、例えばアプリケーションインデックスファイルまたはアプリケーション実行ファイルの実行時に利用されるアプリケーションリソースファイルとしてのデータファイル、具体的にはJPEG, PNG, BMPなどの画像ファイル331、PCM、圧縮Audioなどの音声ファイル332、テキスト、データベースなどの各種データファイル333が含まれるユニットとして設定される。

- [0181] コンテンツ管理ユニット(CPSユニット)4, 454は、コンテンツ管理ユニット(CPSユニット)4, 454に対応付けて設定される暗号鍵Ku4を適用して暗号化される。
- [0182] 例えば、ユーザは、上位の(A')アプリケーション(インデックス+再生プログラム)に対応するアプリケーション、例えばアプリケーションインデックスとしてのゲーム1, 311、またはWEB1, 313に対応するアプリケーション実行ファイルを実行するためには、コンテンツ管理ユニット(CPSユニット)3, 453に対応付けて設定された暗号鍵Ku3を取得して、アプリケーションを実行することが必要となる。
- [0183] さらに、下位の(C)再生区間指定ファイル(プレイリスト)+(D)クリップ(コンテンツデータファイル)に含まれるコンテンツデータの再生を行なう場合、これらは、さらに別のコンテンツ管理ユニット(CPSユニット)として設定されているので、新たなCPSユニット鍵を取得することが必要となる。
- [0184] AVストリーム261の再生を行なう場合には、コンテンツ管理ユニット(CPSユニット)1, 451に対応付けて設定された暗号鍵Ku1を取得することが必要となる。
- [0185] 各データファイル、またはプログラムファイルの提供構成としては、例えば、下位の(C)再生区間指定ファイル(プレイリスト)+(D)クリップ(コンテンツデータファイル)のみを情報記録媒体に格納し、上位の(A')アプリケーション(インデックス+再生プログラム)ファイルは、情報記録媒体に格納せずに、ネットワークに接続したサーバからのみ受領可能とする構成などが可能である。
- [0186] 例えば、コンテンツの利用料金を支払ったことを条件として、ユーザに上位の(A')アプリケーション(インデックス+再生プログラム)ファイルと、その対応するCPSユニット鍵を提供するなどの処理が可能である。

構成においては、図15に示すような、各アプリケーションインデックスまたは、再生区間指定ファイル(プレイリスト)に対応するコンテンツ管理ユニット(CPSユニット)およびユニット鍵情報の管理テーブル[ユニット構成およびユニット鍵管理テーブル]を有し、この管理テーブルに基づく管理を行う。

- [0194] 統括再生制御プログラムは、アプリケーションインデックスの切り替えによって、コンテンツ管理ユニット(CPSユニット)の切り替えが発生したことを検知すると、コンテンツ管理ユニット(CPSユニット)の切り替えによって適用する鍵の切り替えを行う。あるいは鍵の取得が必要であることのメッセージ表示などの処理を実行する。
- [0195] コンテンツ再生処理を実行している再生装置に、上位アプリケーションファイル対応のコンテンツ管理ユニット(CPSユニット)3, 453の鍵Ku3が格納されており、下位の実コンテンツ対応のコンテンツ管理ユニット(CPSユニット)1, 451の鍵Ku1も格納されている場合、コンテンツ再生処理を統括的に制御する統括再生制御プログラムは、上位アプリケーションファイルの実行中にコンテンツファイルの再生要求があったことを検知した場合は、コンテンツ管理ユニット(CPSユニット)の切り替えによって、適用するユニット鍵の切り替え、すなわちKu3→Ku1の切り替えを行う。
- [0196] また、コンテンツ再生処理を実行している再生装置に、上位アプリケーションファイル対応のコンテンツ管理ユニット(CPSユニット)3, 453の鍵Ku3が格納されているが、下位の実コンテンツ対応のコンテンツ管理ユニット(CPSユニット)1, 451の鍵Ku1が格納されていない場合は、コンテンツ再生処理を統括的に制御する統括再生制御プログラムは、上位アプリケーションファイルの実行中にコンテンツファイルの再生要求があったことを検知した場合は、コンテンツ管理ユニット(CPSユニット)1, 451への切り替えを検知し、鍵の取得が必要であることのメッセージ表示などの処理を実行する。
- [0197] (g) ムービーコンテンツ等に使用されるタイトルとゲームコンテンツ、WEBコンテンツなどのアプリケーションを並列に扱う場合の階層構造  
次に、ムービーコンテンツ等に使用されるタイトルとゲームコンテンツ、WEBコンテンツなどのアプリケーションを並列に扱う場合の階層構造、および、この階層構造に設定した場合のコンテンツ管理ユニット(CPSユニット)の構成例について説明する。

な様々なデータファイル、例えばJPEG, PNG, BMPなどの画像ファイル331、PCM、圧縮Audioなどの音声ファイル332、テキスト、データベースなどの各種データファイル333がアプリケーションリソースファイルとして適用される場合もある。

- [0201] a. インデックスと再生プログラムの構成は、図3を参照して説明したと同様の構成であり、タイトルに相当するアプリケーションインデックスファイルデータと、再生プログラムが混在した層として構成される。
- [0202] b. ゲームコンテンツ、WEBコンテンツなどのアプリケーション実行プログラムと再生プログラムの組み合わせの具体例としては、例えばアプリケーション実行機能を持つゲームコンテンツ、HTMLなどのWEBコンテンツを含む構成であり、具体的には、ゲームコンテンツ、HTMLなどのWEBコンテンツに含まれるプログラムの実行により、再生プログラムの起動を可能とした構成などが含まれる。
- [0203] アプリケーション370に含まれるアプリケーション実行ファイルを構成するプログラムとしては、下位のプレイリスト層、クリップ層を参照するプログラム設定と、プレイリスト層、クリップ層を参照しない独立のプログラム設定とするなど、様々な設定のプログラムとすることが可能である。
- [0204] 図16に示すような階層構成とした場合のコンテンツ管理ユニット(CPSユニット)の設定例を図17に示す。
- [0205] 図17に示すように、本構成におけるコンテンツ管理ユニット(CPSユニット)の設定構成は、アプリケーション370に含まれる1つ以上のタイトル1, 371、タイトル2, 372等のアプリケーションインデックスファイルまたはアプリケーション実行ファイル373, 374等のアプリケーション実行ファイルを含むCPSユニットを設定する。
- [0206] 図17に示すCPSユニット1, 461のように、アプリケーションインデックスファイルと、再生プログラムファイルと、プレイリストと、コンテンツ実データとしてのAVストリームファイル群とを1つのユニットとして設定したり、またはCPSユニット2, 462のように、アプリケーション実行ファイルと、再生プログラムファイルと、プレイリストと、コンテンツ実データとしてのAVストリームファイル群とを1つのユニットとして設定する構成が可能である。
- [0207] また、図17に示すCPSユニット3, 463のように、アプリケーション実行ファイルと、

ファイル333が含まれるユニットとして設定される。

- [0213] コンテンツ管理ユニット(CPSユニット)3, 463は、コンテンツ管理ユニット(CPSユニット)3, 463に対応付けて設定される暗号鍵Ku3を適用して暗号化される。
- [0214] 例えば、ユーザがコンテンツ管理ユニット1, 461に対応するアプリケーションファイルまたはコンテンツ再生処理を実行するためには、コンテンツ管理ユニット(CPSユニット)1, 461に対応付けて設定された暗号鍵Ku1を取得することで、アプリケーションを実行し、コンテンツ再生を行なうことができる。
- [0215] 例えば、コンテンツ管理ユニット3, 463に対応するアプリケーションファイルまたは、再生プログラム383に対応付けられた画像ファイル331、PCM、圧縮Audioなどの音声ファイル332、テキスト、データベースなどの各種データファイル333の利用処理を行なう場合は、コンテンツ管理ユニット(CPSユニット)3, 463に対応付けて設定された暗号鍵Ku3を取得して、アプリケーションを実行または各種ファイルを実行することになる。
- [0216] この方法を適用した処理の実行における制限事項としては、ある特定のタイトル再生中はそのタイトルが属するCPSユニットに含まれないAVストリームファイルを再生することはできない。つまり、タイトル再生中に実行されるムービーオブジェクトはそのタイトルが属するCPSユニットに含まれないAVストリームファイルを再生するコマンドを含んではならない。なお、ムービーオブジェクトはタイトル切り替えを実行するコマンドを持つことができ、タイトルジャンプコマンドなどでタイトル切り替えが発生した時点で再生装置は再生中のタイトルが変化したと判断する。つまり、図17においてタイトル2の再生中にタイトル3へジャンプするコマンドを実行することは可能である。この場合ジャンプ後はタイトル3が再生されている状態となる。
- [0217] プレイリストは複数のクリップを参照することができるが、参照するクリップは1つのCPSユニットに含まれるクリップに限られる。
- [0218] これらの制限を設定することにより、1つのCPSユニットに属するタイトルを再生している間はユニット鍵の変更は起こらない。その結果タイトル内でAVストリームを連続に再生する際シームレスな接続が容易となる。
- [0219] なお、タイトルはユーザに見える情報であるため、CPSユニット単位で鍵の配信、コ

する統括再生制御プログラムは、アプリケーションのユニット間の切り替えやコンテンツの切り替えがあったことを検知した場合は、鍵の取得が必要であることのメッセージ表示などの処理を実行する。

[0225] [4. ネットワーク独立、接続状態に基づくコンテンツ利用管理]

次に、ホームネットワークなどのネットワーク接続機器としての再生装置に、上述したコンテンツ管理ユニットに区分され、ユニット単位の暗号鍵としてのユニット鍵を適用して暗号化されたコンテンツを格納した情報記録媒体を装着してコンテンツの再生、利用を行う場合、各コンテンツがネットワーク独立状態にあるか、ネットワーク接続状態にあるかに基づいてコンテンツ利用管理を行う構成について説明する。

[0226] 図19(A)に示すように、記録媒体上のコンテンツ管理ユニット(CPSユニット)の状態として、ネットワークから独立した状態(ネットワーク独立状態=Discrete状態)、ネットワークに関連付けられた状態(ネットワーク関連状態=Bound状態)の2つを定義する。

[0227] 記録媒体上に複数のコンテンツ(コンテンツ管理ユニット)がある場合、コンテンツ管理ユニット(CPSユニット)ごとに、各コンテンツ管理ユニット(CPSユニット)がいずれの状態であるかが管理される。このコンテンツ管理ユニット(CPSユニット)ごとのDiscrete／Bound状態の管理情報は、情報記録媒体、あるいは情報記録媒体を装着したプレーヤ(情報再生装置)、情報管理処理を実行するホームネットワーク上の管理サーバに記録される。

[0228] 図19に示すコンテンツ1～コンテンツ6は、それぞれコンテンツ管理ユニット(CPSユニット)に対応する。

[0229] コンテンツの再生方法について説明する。

情報記録媒体に格納されたコンテンツ管理ユニット(CPSユニット)に区分された各コンテンツは、ネットワーク独立状態(Discrete状態)において再生可能なコンテンツと、再生できないコンテンツがある。

[0230] 図19中のコンテンツ1～4はネットワーク独立状態(Discrete状態)で再生可能なコンテンツであり、コンテンツ5～6はネットワーク独立状態(Discrete状態)で再生できないコンテンツである。

送信側の装置が行い、画面に表示されるべき映像と再生されるべき音声のみを受信装置が表示可能なデータ形式で送信するコンテンツ再生処理である。遠隔再生においてはユーザの操作コマンドは受信側の装置が受け取り、送信を行っている再生装置にネットワーク経由で届ける必要がある。

- [0237] (d)コンテンツ4は、ネットワーク独立状態(Discrete状態)において再生可能なコンテンツであり、ネットワーク関連状態(Bound状態)では、記録媒体上のコンテンツとネットワーク経由でダウンロードしたデータを合わせて再生するコンテンツ再生を実現するコンテンツ(コンテンツ管理ユニット)である。
- [0238] ダウンロードするデータとしては記録媒体に保存されていない言語の字幕、音声データ、メニュー画面データのほか、コンテンツ再生時に使用するデータの最新版などが想定される。コンテンツ4は、ネットワーク独立状態(Discrete状態)でも再生可能なコンテンツが、ネットワーク関連状態(Bound状態)ではダウンロードしたデータと合わせて再生されるコンテンツの例である。
- [0239] (e)コンテンツ5は、ネットワーク独立状態(Discrete状態)において再生不可能なコンテンツであり、ネットワーク関連状態(Bound状態)でのみ、再生可能となるコンテンツ(コンテンツ管理ユニット)である。
- [0240] ネットワーク経由で再生に必要な鍵、すなわち、コンテンツ5として定義されるコンテンツ管理ユニットに対応するユニット鍵を取得し再生が可能になる。このようなユニット鍵の取得を条件とした再生許容構成とすることで、ネットワーク独立状態(Discrete状態)で再生できないコンテンツを配布・販売し、再生を行う際に課金して鍵情報を販売する形態のサービスも可能になる。
- [0241] (f)コンテンツ6は、ネットワーク独立状態(Discrete状態)において再生不可能なコンテンツであり、ネットワーク関連状態(Bound状態)でのみ、再生可能となるコンテンツ(コンテンツ管理ユニット)であり、さらに、記録媒体上のコンテンツとネットワーク経由でダウンロードしたデータを合わせて再生するコンテンツ再生を実現するコンテンツ(コンテンツ管理ユニット)である。
- [0242] なお、(d)コンテンツ4～(f)コンテンツ6は、ネットワーク接続を行い、ダウンロードデータ、またはユニット鍵の取得処理を行うことになるが、これらのデータ取得の前提条

[0248] 各コンテンツ(コンテンツ管理ユニット)は、

- (1) ネットワーク独立状態(Discrete状態)で実行可能な処理と、
- (2) ネットワーク関連状態(Bound状態)で実行可能な処理

上記2つの状態における実行可能なコピー処理様があらかじめ決定され、これらの情報が、各コンテンツ(コンテンツ管理ユニット)の対応属性情報として情報記録媒体に記録、あるいは、管理情報を保有する管理サーバに記録されている。

[0249] その例として、たとえば図20(a)～(f)に示すコンテンツ(コンテンツ管理ユニット)がある。

(a) コンテンツ1は、ネットワーク独立状態(Discrete状態)において再生可能なコンテンツであり、ネットワーク関連状態(Bound状態)に移行できないコンテンツ(コンテンツ管理ユニット)である。

[0250] (b) コンテンツ2は、ネットワーク独立状態(Discrete状態)において再生可能なコンテンツであり、ネットワーク関連状態(Bound状態)でも再生可能であるが、コピーは許容されないコンテンツ(コンテンツ管理ユニット)である。

[0251] (c) コンテンツ3は、ネットワーク独立状態(Discrete状態)において再生可能なコンテンツであり、ネットワーク関連状態(Bound状態)でも再生可能である。さらに、ネットワーク関連状態(Bound状態)でのみ、コピー元と同種の記録媒体へのコンテンツコピーが許容されたコンテンツ(コンテンツ管理ユニット)である。

[0252] コピー先区分として、

コピー元と同種の記録媒体、

異なる記録媒体(ネットワーク内)、

携帯機器

の3つが想定される。コンテンツ3のケースは同種の記録媒体へコピーすることのみが許容されたコンテンツであり、コピー先がコピー元と同種の記録媒体であることが確認された場にのみ、コピー元は記録媒体上のデータをそのままコピー先へ送ることができる。

[0253] (d) コンテンツ4は、ネットワーク独立状態(Discrete状態)において再生可能なコンテンツであり、ネットワーク関連状態(Bound状態)でも再生可能である。さらに、ネット

能なAVI等のファイル形式やMPEG-PS形式)で同じ内容のコピー用データを保存しておき、ネットワーク経由のコピーではコピー用のデータを送出し、これらの機器での再生を可能とする構成が適用できる。

[0259] なお、コンテンツのコピーを行う前にネットワーク経由での認証や鍵取得を行わせる構成とすることが好ましい。また、例えばコピーするごとに課金を行う、コピーに鍵を必要とするシステムにおいては、鍵の配信回数でコピー回数を制限するなどのコンテンツ管理処理構成とすることが好ましい。

[0260] [6. コンテンツ管理ユニット対応の管理情報]

次に、上述したコンテンツ管理ユニットに区分され、ユニット単位の暗号鍵としてのユニット鍵を適用して暗号化されたコンテンツを格納した情報記録媒体におけるコンテンツ管理ユニット対応の管理情報について説明する。

[0261] 前述したように、コンテンツ管理ユニット(CPSユニット)は、

タイトル

アプリケーションインデックス

再生プログラム

プレイリスト

クリップ

これらいずれかに対応付けられて構成され、また1つのコンテンツ管理ユニット(CPSユニット)に1つのユニット鍵が対応付けて設定される。

[0262] コンテンツ管理ユニット(CPSユニット)構成および鍵管理テーブルについては、図5、図7、図9、図11、図13に示すようなユニット鍵情報の管理テーブル[ユニット構成およびユニット鍵管理テーブル]として設定されるとして説明した。

[0263] さらに、コンテンツ管理ユニット(CPSユニット)に対応する属性情報として、上述したように、各コンテンツ管理ユニット(CPSユニット)が、

a. ネットワーク独立状態(Discrete状態)

b. ネットワーク関連状態(Bound状態)

のいずれの状態であるかの状態情報がある。ただし、データ書き込みが不可能な情報記録媒体については、これらの状態情報は初期状態のみが記述されることにな

[0271] c. Bound onlyは、ネットワーク関連状態(Bound状態)のみが許容状態であり、ネットワーク独立状態(Discrete状態)への遷移が許容されないコンテンツ(コンテンツ管理ユニット)である。

[0272] b: Bound initiallyは、初期的にネットワーク関連状態(Bound状態)であるが、ネットワーク独立状態(Discrete状態)への遷移が許容されるコンテンツ(コンテンツ管理ユニット)である。

[0273] 初期状態でネットワーク関連状態(Bound状態)というのは、あらかじめコンテンツがネットワーク上の情報と関連付けられて配布されるケースを想定している。例えばネットワーク上の情報とあわせて再生することを前提にしたコンテンツなどである。

[0274] 現在の状態としては、ネットワーク独立状態(Discrete状態)、または、ネットワーク関連状態(Bound状態)のいずれかが設定される。

[0275] コンテンツ管理ユニット毎に、現状態の設定は可能であるが、コンテンツの利用管理を行う様として、2つの状態管理方法が考えられる。第一の方法は記録媒体を家庭内ネットワークの外に出す場合は必ず初期状態に戻す構成とするものである。

[0276] たとえばコンテンツ格納記録媒体として、再生装置に対して着脱可能リムーバブルメディアを用いた場合、リムーバブルメディアを再生装置から取り出した時点での各コンテンツの状態を初期状態に戻す。この場合、記録媒体外部に保存された状態管理テーブルも初期化する。

[0277] 第二の方法は記録媒体の状態を外部の管理サーバなどに登録しておく方法である。この場合、リムーバブルメディアを取り出しただけでは記録媒体外部の状態管理テーブルを初期化する必要はない。

[0278] ホームネットワーク(A)の再生機器において、ネットワーク関連状態(Bound状態)に設定したコンテンツを格納したリムーバブルメディアを、例えば別の家庭に構築されたホームネットワーク(B)に接続された再生装置に装着し、ネットワーク関連状態(Bound状態)に設定しようとすると、管理サーバは、状態管理テーブルに基づいて、ホームネットワーク(A)においてネットワーク関連状態(Bound状態)であるコンテンツが、重複して異なるホームネットワーク(B)でネットワーク関連状態(Bound状態)に設定されようとしていることを検出し、ホームネットワーク(B)でのネットワーク関連状態

コンテンツについては、管理サーバにおいて記録されるコンテンツ管理情報のみに基づいてコンテンツの利用管理構成をとることが可能である。

- [0287] コンテンツ管理情報のデータ例について、図22を参照して説明する。図22は、コンテンツの状態、すなわち、コンテンツがネットワーク独立状態(Discrete状態)にあるか、ネットワーク関連状態(Bound状態)にあるかに応じたコンテンツ管理情報を固定長データで記録したコンテンツ利用管理情報テーブルの構成例である。
- [0288] 家庭内ネットワークでのコンテンツ利用を考慮すると、図22に示すような固定長のコンテンツ管理情報の設定が好ましい。ネットワーク独立状態(Discrete状態)の管理情報としては、例えば、ネットワーク独立状態(Discrete状態)での再生の可否が記述される。ネットワーク独立状態(Discrete状態)で再生できないコンテンツについてはコンテンツを再生するための方法が記述される。例えば鍵配信サーバへの接続、別メディア(メモリーカードなど)で配布される鍵データの取得が必要であること、サーバを特定するためのURL、電話番号などの情報またはそれらの情報が保存されたリストへのインデックス値が記述される。
- [0289] また、ネットワーク関連状態(Bound状態)の管理情報としては、ネットワーク内のコピー、ストリーミング、遠隔再生に関する可否、および対象となる機器の分類ごとにコピー回数、有効期限、コピー・ストリーミング用データの有無、データ変換方式、コンテンツがネットワーク関連状態(Bound状態)でなくなった場合のコピーデータの扱いなどを記述する。
- [0290] なお、図22はこれらの情報の一部または全てを固定長のフィールドに保存することを想定しているため、URLやデータの位置(パス情報)など文字数の多いデータは別ファイルに保存し、固定長フィールドへは別ファイルに保存されたリストへのインデックスを保存することになる。
- [0291] また、記録媒体上の再生制御情報を使用せず、サーバから再生時の動作制御情報を取得し、それに従って動作することを可能にするため、図22に示すコンテンツ管理情報構成データ501に示すように、サーバから情報を取得することを示すフラグ、およびサーバへのアクセス方法を示す情報を保存する構成としてもよい。
- [0292] このような情報をコンテンツ管理情報として設定することにより、固定長データでは

表現できない複雑な制御や記録媒体を販売した後での制御方法の変更などが可能になる。

- [0300] さらに、図23に示すコンテンツ管理情報構成データ503としてのユーザ定義情報を設定し、ここにユーザ定義可能な制御情報のタイプなどを設定する構成により、個々のユーザに対応するコンテンツ再生制御、例えば特定の会員ユーザと非会員ユーザとを区別して、会員ユーザにのみ許容する再生処理を可能とする、あるいは、記録媒体規格に依存しないコピー制御情報(CCI情報)の定義を設定するなど、記録媒体に属する規格の範囲を超える制御方法、コンテンツ配布者が自由に定義できる制御方法を実現することができる。
- [0301] ユーザ定義に基づくコピー制御情報(CCI情報)の使用例としては、例えば、記録媒体規格に依存しないコピー制御情報(CCI情報)の定義を設定する使用例がある。
- [0302] コピー制御情報(CCI情報)のパラメータなどは、特定の記録システム(DVD規格など)ごとに規格で定められており、一旦それに対応した再生装置が普及した後で、コピー制御情報(CCI情報)を拡張することは困難である。
- [0303] そこで、記録システムによって決められたコピー制御情報(CCI情報)にない任意の制御情報をユーザ定義情報として設定し、コンテンツ所有者や管理者が独自のコピー制御情報(CCI情報)を設定する。
- [0304] コンテンツ所有者や管理者が独自に設定したコピー制御情報(CCI情報)の解釈は、規格準拠の再生装置だけでは不可能なため、コピー制御情報(CCI情報)の解釈を行うアプリケーション(例えばJava)を記録媒体上、またはサーバ等、外部から取得可能とし、取得したアプリケーションの実行により、独自定義のコピー制御情報(CCI情報)の解釈、CCI情報に従った動作制御を再生装置において実行させることが可能となる。
- [0305] 上述した各種のコンテンツ管理ユニット(CPSユニット)に対応する管理情報を格納するディレクトリ構成、および管理情報の格納部の設定例について、図24を参照して説明する。BDMVディレクトリはBlu-ray Disc ROMフォーマットにおいてアプリケーション用ファイルを保管するディレクトリである。

ブルとして管理してもよい。

- [0310] 記録媒体上のユーザデータ領域に保存されるアプリケーション用ファイルに上記3つのテーブルを保存する場合の例が(B)の例である。これらのテーブルは記録媒体上に1つ存在すればよいので、保存する位置は、例えば、タイトルインデックステーブルファイル(図中のindex. bdmv)または再生プログラム(ムービーオブジェクト)ファイル(図中のMovieObject. bdmv)のどちらかである。
- [0311] 記録媒体上の物理領域(ユーザが直接アクセスできない領域)に上記3つの情報を保存する場合の例が(C)である。記録媒体上ではなく、外部のサーバなどに上記3つの情報を保存する場合の例が(D)である。この場合再生装置は記録媒体の再生開始前に必ず外部のサーバから3つのテーブルに該当する情報を取得しなければならない。
- [0312] [7. 情報記録媒体再生装置の構成例]  
次に、図25を参照して、上述の情報記録媒体に格納されたコンテンツの再生処理を行う情報処理装置の構成例について説明する。
- [0313] 記録再生装置600の構成を解説する。バス601に各ブロックが接続されている。MPEG-TSデータからなるAVストリームデータの再生を行う場合、ドライブ690において情報記録媒体691から読み出されたデータは必要に応じて暗号化処理手段650で暗号を解きTS(Transport Stream)・PS(Program Stream)処理手段620によってVideo、Audio、字幕などの各データに分けられる。
- [0314] MPEGコーデック630において復号されたデジタルデータは入出力I/F640内のD/Aコンバータ641によってアナログ信号に変換され出力される。またデジタル出力を行う場合、暗号化処理手段650で復号されたMPEG-TSデータは入出力IF610を通してデジタルデータとして出力される。この場合の出力は例えばIEEE1394やイーサネットケーブル、無線LANなどのデジタルインターフェースに対して行われる。なお、ネットワーク接続機能に対応する場合入出力IF610はネットワーク接続の機能を備える。また、再生装置内で出力先機器が受信可能な形式にデータ変換をして出力を行う場合、一旦、TS・PS処理手段620で分離したVideo、Audio、字幕などに対してMPEGコーデック630においてレート変換、コーデック変換処理を加え、TS

号入力の2つのケースが想定される。

[0318] デジタル信号の場合、デジタル信号用入出力I/F610から入力され、必要に応じて暗号化処理手段650によって適切な暗号化処理を施したデータを情報記録媒体691に保存する。また、入力されたデジタル信号のデータ形式を変換して保存する場合、MPEGコーデック630およびCPU670、TS・PS処理手段620によって保存用のデータ形式に変換を行い、その後暗号化処理手段650で適切な暗号化処理を施して情報記録媒体691に保存する。

[0319] アナログ信号の場合、入出力I/F640へ入力されたアナログ信号はA/Dコンバータ641によってデジタル信号となり、MPEGコーデック630によって記録時に使用されるコーデックへと変換される。その後、TS・PS処理手段620により、記録データの形式であるAV多重化データへ変換され、必要に応じて暗号化処理手段650によって適切な暗号化処理を施したデータが記録媒体691に保存される。なお、前述した各管理テーブル、すなわち、

[ユニット構成および鍵管理テーブル]

[状態管理テーブル]

[コンテンツ利用管理情報テーブル]

についても、適宜、作成または更新し、記録媒体691上に保存する。

[0320] 記録再生装置において必要な情報を装置外部のネットワーク経由で取得する場合、取得したデータは記録再生装置内部のメモリ680に保存される。保存されるデータとしてはコンテンツ再生に必要な鍵情報、コンテンツ再生時に合わせて再生するための字幕、音声(Audio)情報、静止画などのデータ、コンテンツ管理情報、およびコンテンツ管理情報に対応した再生装置の動作ルール(Usage Rule)などが存在する。

[0321] なお、再生処理、記録処理を実行するプログラムはROM660内に保管されており、プログラムの実行処理中は必要に応じて、パラメータ、データの保管、ワーク領域としてメモリ680を使用する。なお、図25では、データ記録、再生の可能な装置構成を示して説明したが、再生機能のみの装置、記録機能のみを有する装置も構成可能であり、これらの装置においても本発明の適用が可能である。

次に、上述した情報記録媒体に格納されたコンテンツ、すなわちコンテンツ管理ユニット(CPSユニット)の毎に異なるユニット鍵を適用して暗号化のなされたコンテンツを格納した情報記録媒体からのコンテンツ再生処理、その他の処理を実行する際の処理シーケンスについて、フローを参照して説明する。

[0326] (1)コンテンツ再生処理

まず、コンテンツ管理ユニット(CPSユニット)単位の暗号化コンテンツを格納した情報記録媒体からのコンテンツの再生処理シーケンスについて、図27のフローを参照して説明する。

[0327] 図27の処理は、情報記録媒体を装着した情報処理装置(再生装置)に格納されたコンテンツ再生の再生制御を統括的に実行する統括再生制御プログラムによって実行される。

[0328] ステップS301において、情報処理装置は情報記録媒体に格納されたコンテンツ、すなわちコンテンツ管理ユニットから再生対象コンテンツを選択する。この処理は、例えば情報処理装置に接続された入力手段からのユーザ入力、あるいはネットワーク接続された機器からのコンテンツ指定情報の入力に基づいて実行される。具体的には、図2、図3を参照して説明したコンテンツを構成する階層構成中、ユーザに提示されるタイトルや、アプリケーションインデックスの指定情報に基づいて再生プログラムが起動し、再生プログラムに基づいて、いずれかのプレイリストが選択され、プレイリストに従って、クリップが選択されて再生が開始される。

[0329] ステップS302において、再生対象のコンテンツを含むコンテンツ管理ユニット(CPSユニット)が特定される。前述のように、コンテンツ管理ユニットは、

タイトル

アプリケーションインデックス

再生プログラム

プレイリスト

クリップ

これらいづれかに対応付けられて構成されている。

[0330] コンテンツ再生の再生制御を統括的に実行する統括再生制御プログラムは、上記

[0335] ステップS311において、情報処理装置は情報記録媒体に格納されたコンテンツ、すなわちコンテンツ管理ユニットからコピー処理の対象コンテンツを選択する。この処理は、例えば情報処理装置に接続された入力手段からのユーザ入力、あるいはネットワーク接続された機器からのコンテンツ指定情報の入力に基づいて実行される。

[0336] ステップS312において、コピー対象のコンテンツ管理ユニット(CPSユニット)が特定される。前述のように、コンテンツ管理ユニットは、

- タイトル
- アプリケーションインデックス
- 再生プログラム
- プレイリスト
- クリップ

これらいづれかに対応付けられて構成されている。

[0337] 上記いづれかに対応して設定されたコンテンツ管理ユニット各々に対しては、図22を参照して説明した[コンテンツ利用管理情報テーブル]に、コピーの可否が設定され、また、コピーが許可されている場合は、コピーの制限回数が付与されている場合がある。

[0338] ステップS313において、コピー指定コンテンツがコピー可能であるか、ステップS314においてコピー回数が制限回数内であるかが、[コンテンツ利用管理情報テーブル]に基づいて判定される。なお、この「コピー可能か？」の判定処理は、記録媒体上の[コンテンツ利用管理情報テーブル]を使用したコピー可能性の確認に限らず、例えば[コンテンツ利用管理情報テーブル]を外部サーバに保持している場合には、ネットワーク経由でサーバに接続して、サーバからコピー許容情報を取得する。また、コピーをする権利をサーバ経由で購入して、コンテンツのコピー許可を取得する構成としてもよい。

[0339] コピーが許容されていないコンテンツ、あるいは、すでにコピー許容回数に達しているコンテンツである場合は、コピー処理を行うことなく処理を終了する。コピーが許容されているコンテンツであり、かつコピー許容回数に達していないコンテンツである場合は、ステップS315に進み、コピー先の機器の互換性情報を確認する。コピー先

[0344] ステップS332において、コピー対象のコンテンツ管理ユニット(CPSユニット)が特定される。前述のように、コンテンツ管理ユニットは、

タイトル

アプリケーションインデックス

再生プログラム

プレイリスト

クリップ

これらいずれかに対応付けられて構成されている。

[0345] 上記いずれかに対応して設定されたコンテンツ管理ユニット各々に対しては、図22を参照して説明した[コンテンツ利用管理情報テーブル]に、ストリーミング再生の可否が設定されている。ストリーミング再生が可能である場合は、ストリーミング再生の許容機器情報が設定されている場合もある。

[0346] ステップS333において、ストリーミング再生可能であるかが、[コンテンツ利用管理情報テーブル]に基づいて判定される。なお、この「ストリーミング再生可能か？」の判定処理は、記録媒体上の[コンテンツ利用管理情報テーブル]を使用したストリーミング再生許容情報の確認に限らず、例えば[コンテンツ利用管理情報テーブル]を外部サーバに保持している場合には、ネットワーク経由でサーバに接続して、サーバから許容情報を取得する。また、ストリーミング再生をする権利をサーバ経由で購入する構成としてもよい。

[0347] ストリーミング再生が許容されていないコンテンツである場合は、ストリーミング再生処理を行うことなく処理を終了する。ストリーミング再生が許容されているコンテンツである場合は、ステップS334に進み、ストリーミングデータ受信機器の互換性情報を確認する。ストリーミングデータ受信機器とは、例えばホームネットワークで接続されたTV、PC等の機器である。互換性の有無は、例えば情報記録媒体に格納されたコンテンツとしてのMPEG-TSをストリーミングデータ受信機器で処理可能か、すなわちTS(トランスポートストリーム)処理手段、MPEGコーデック等の機能を備えているか否かの判定である。

[0348] ステップS335において、情報記録媒体に格納されたコンテンツをそのまま送信可

アプリケーションインデックス

再生プログラム

プレイリスト

クリップ

これらいづれかに対応付けられて構成されている。

[0353] 上記いづれかに対応して設定されたコンテンツ管理ユニット各々に対しては、図22を参照して説明した[コンテンツ利用管理情報テーブル]に、遠隔再生の可否が設定されている。遠隔再生が可能である場合は、遠隔再生の許容機器情報が設定されている場合もある。

[0354] ステップS353において、遠隔再生可能であるかが、[コンテンツ利用管理情報テーブル]に基づいて判定される。なお、この「遠隔再生可能か？」の判定処理は、記録媒体上の[コンテンツ利用管理情報テーブル]を使用した遠隔再生許容情報の確認に限らず、例えば[コンテンツ利用管理情報テーブル]を外部サーバに保持している場合には、ネットワーク経由でサーバに接続して、サーバから許容情報を取得する。また、遠隔再生をする権利をサーバ経由で購入する構成としてもよい。

[0355] 遠隔再生が許容されていないコンテンツである場合は、遠隔再生処理を行うことなく処理を終了する。遠隔再生が許容されているコンテンツである場合は、ステップS354に進み、遠隔再生において、コンテンツを受信する遠隔再生コンテンツ受信機器の互換性情報を確認する。遠隔再生コンテンツ受信機器とは、例えばホームネットワークで接続されたTV、PC等の機器である。互換性の有無は、例えば情報記録媒体に格納されたコンテンツとしてのMPEG-TSをストリーミングデータ受信機器で処理可能か、すなわちTS(トランスポートストリーム)処理手段、MPEGコーデック等の機能を備えているか否かの判定である。

[0356] ステップS355において、情報記録媒体に格納されたコンテンツをそのまま送信可能であると判定した場合は、ステップS356において、コンテンツを情報記録媒体から読み出して、遠隔再生コンテンツ受信機器に対する送信処理を開始する。

[0357] ステップS356において、情報記録媒体に格納されたコンテンツをそのまま送信可能でないと判定した場合は、コンテンツの送信は実行せず、処理を終了する。

ノードキー)および各リーフのリーフキーからなるキーセット(デバイスキーカー(DNK:Device Node Key))をメモリに格納する。図32の最下段に示すK0000～K1111が各デバイス0～15にそれぞれ割り当てられたリーフキーであり、最上段のKR(ルートキー)から、最下段から2番目の節(ノード)に記載されたキー:KR～K111をノードキーとする。

- [0363] 図32に示す木構造において、例えばデバイス0はリーフキーK0000と、ノードキー:K000、K00、K0、KRをデバイスキーアとして所有する。デバイス5はK0101、K010、K01、K0、KRを所有する。デバイス15は、K1111、K111、K11、K1、KRを所有する。なお、図32のツリーにはデバイスが0～15の16個のみ記載され、ツリー構造も4段構成の均衡のとれた左右対称構成として示しているが、さらに多くのデバイスがツリー中に構成され、また、ツリーの各部において異なる段数構成を持つことが可能である。
- [0364] 例えば図32の点線で囲んだ部分、すなわちデバイス0, 1, 2, 3を1つのグループとして設定する。例えば、この点線で囲んだグループ内に含まれるデバイスのみが情報記録媒体に格納した暗号化コンテンツの正当な利用権、すなわちライセンスを保有する。この場合、デバイス0, 1, 2, 3のみがコンテンツ復号に適用する鍵の取得を可能としたRKBを設定して、暗号化コンテンツを格納した情報記録媒体に格納することになる。
- [0365] 図32から明らかのように、1つのグループに含まれる3つのデバイス0, 1, 2, 3はそれぞれのデバイスに格納したデバイスキーカー(DNK:Device Node Key)として共通のキーK00、K0、KRを保有している。
- [0366] このとき、デバイス0, 1, 2のみがコンテンツの復号に適用するユニット鍵(Ku1、Ku2…の生成に使用するメディアキーKmを取得可能としたRKBの構成は、例えば図33に示す構成となる。すなわち、RKBは、
  - インデックス 暗号化データ
  - 000 Enc(K000, Km)
  - 0010 Enc(K0010, Km)
 として設定される。

[0370] さらに、データ処理部824において、ユニット鍵を適用して、情報記録媒体810から読み出したコンテンツ、すなわちコンテンツ管理ユニット内のAVストリーム等の暗号化コンテンツの復号処理を実行し、コンテンツを取得し、再生する。なお、ユニット鍵取得部823は、ユニット設定単位情報と、コンテンツ管理ユニット識別情報と、ユニット鍵識別情報とを対応付けた管理テーブルに基づいて、コンテンツ管理ユニットの切り替えを検出し、検出情報に従って、適用ユニット鍵の変更処理を実行する。

[0371] 図34は、情報記録媒体ではなく、ネットワーク接続されたサーバからコンテンツ再生に必要な各種情報を取得する処理を説明する図である。サーバ850から鍵等の必要情報を取得する場合、情報記録媒体830に格納されたコンテンツ831はネットワーク関連状態(Bound状態)に設定されていることが前提である。

[0372] 図34に示す例では、再生装置840は、サーバからコンテンツ再生に必要な取得情報としてユニット鍵、コンテンツ管理情報、コンテンツ利用権情報を含むコンテンツ使用条件(Usage Rule)、記録媒体上の再生制御情報ではなくサーバから取得する制御情報に基づいて、再生時の動作制御を行うことを可能とするための動作制御情報、字幕データ、音声データ等のダウンロードデータを取得する例を示しており、サーバ850は、これらの各情報を格納したデータベース852を有している。

[0373] 図34に示す例において、再生装置840はデバイスキーを適用した認証処理を実行する認証処理部841を有し、サーバ850は、ユーザデバイスとしての再生装置に付与したデバイスキーを格納したデバイスキーデータベース851を有する、再生装置840の認証処理部841と、サーバ850の認証処理部853は、共有するデバイスキーを用いた認証処理、例えば共通鍵暗号処理方式を適用した認証シーケンス(例えばISO9798で規定された処理)を実行し、相互の正当性を確認し、また転送データの暗号処理鍵としてのセッションキーを生成する。

[0374] サーバ850のデータ処理部854は、認証の成立により、再生装置840が正当なデバイスキーを持つ正当な機器であると確認したことを条件として、コンテンツ再生に必要な情報、すなわち、ユニット鍵、コンテンツ管理情報、コンテンツ利用権情報を含むコンテンツ使用条件(Usage Rule)、記録媒体上の再生制御情報ではなくサーバから取得する制御情報に基づいて、再生時の動作制御を行うことを可能とするため

[0379] 例えば、コンテンツを格納した情報記録媒体にデフォルトのコピー制御情報(CCI情報)として、特定の機器へのコピーを不可としたコピー制御情報(CCI情報)を設定する。再生装置840は、サーバ850に接続し、ユーザ登録などの処理を実行することで、サーバから新たなコピー制御情報(CCI情報)を受領する。サーバ850の提供するコピー制御情報(CCI情報)は、特定の機器へのコピーを許容としたコピー制御情報であり、サーバ接続処理に基づいて許可を得た再生装置840のみに対して、デフォルトのコピー制御情報(CCI情報)では許容されないコンテンツのコピーを許容する構成とすることができる。

[0380] (動作制御情報利用例2)

全てのコピー制御情報(CCI情報)を、サーバ850から取得する動作制御情報とする。

記録媒体上にはコピー制御情報(CCI情報)を記録せず、再生装置840に対してサーバ850からのコピー制御情報(CCI情報)取得を義務付ける。本構成により、記録媒体に格納するコンテンツのコピー制御を常にサーバ850側で管理でき、また記録媒体保有者としてのユーザ管理、再生装置の管理が可能となる。

[0381] (動作制御情報利用例3)

動作制御情報としてJavaなどのアプリケーションをサーバ850から提供する。

再生装置840は、Java等のアプリケーションをサーバ850からダウンロードして、実行する。Javaアプリケーションの対象範囲は単なる再生制御にとどまらず、広告の表示、特定の記録媒体購入者向けサービスのほか、コンテンツ利用の条件としてのユーザ登録、課金などを実行することも可能である。

[0382] このように、動作制御情報としてJavaなどのアプリケーションプログラムをサーバ850から提供して、提供プログラムを実行することをコンテンツ再生条件として設定することで、例えば、広告の提示、ユーザ登録処理、あるいは利用料金の徴収処理などを、再生装置840に対して、必然的に実行させる構成を実現させることができる。

[0383] (動作制御情報利用例4)

サーバ850側でのユーザ、再生装置、または記録媒体一枚ごとにコピー制御管理を含む動作制御管理を行なう。

コピー制御情報(CCI情報)に従ったコピー制御を実行する。

[0390] なお、上述の例では、サーバ850からの転送データとして、ユニット鍵の他にコンテンツ管理情報、コンテンツ使用条件(Usage Rule)、動作制御情報、字幕データ、音声データ等のダウンロードデータを示してあるが、これらは、コンテンツの再生に応じて必要であれば取得するデータであり、常に取得することを要するものではない。

[0391] 図35は、図34と同様、ネットワーク接続されたサーバからコンテンツ再生に必要な各種情報を取得する処理を説明する図である。図35において、再生装置840、サーバ850は、認証用の秘密鍵および公開鍵証明書を持つ。図35において、再生装置840のデバイスキー、サーバ850のサーバキーがそれぞれ認証用の秘密鍵として設定され、それらの秘密鍵に対応する公開鍵が格納された公開鍵証明書が設定される。

[0392] 再生装置840は、サーバ850から鍵等の必要情報を取得する場合、情報記録媒体830に格納されたコンテンツ831はネットワーク関連状態(Bound状態)に設定されていることが前提である。

[0393] 図35に示す例では、再生装置840は、サーバからコンテンツ再生に必要な取得情報としてユニット鍵、コンテンツ管理情報、コンテンツ利用権情報を含むコンテンツ使用条件(Usage Rule)、記録媒体上の再生制御情報ではなくサーバから取得する制御情報に基づいて、再生時の動作制御を行うことを可能とするための動作制御情報、字幕データ、音声データ等のダウンロードデータを取得する例を示しており、サーバ850は、これらの各情報を格納したデータベース852を有している。

[0394] 図35に示す例において、再生装置840はデバイスキーを有し、サーバ850は、サーバキーデータベース855にサーバキーを格納している。再生装置840の認証処理部841と、サーバ850の認証処理部853は、デバイスキー、サーバキーを用いた認証処理、たとえば公開鍵暗号処理方式を適用した認証シーケンスを実行し、相互の正当性を確認し、また転送データの暗号処理鍵としてのセッションキーを生成する。

[0395] サーバ850のデータ処理部854は、認証の成立により、再生装置840が正当なデバイスキーを持つ正当な機器であると確認したことを条件として、コンテンツ再生に必要な情報、すなわち、ユニット鍵、コンテンツ管理情報、コンテンツ使用条件(Usage

付与した認証キーを格納した認証キーデータベース881を有し、サーバ880の認証処理部883と再生装置870の認証処理部872との間において共有する認証キーを適用した共通鍵方式の認証処理が実行される。

- [0403] サーバ880のデータ処理部884は、認証の成立により、再生装置870が正当な認証キーを持つ正当な機器であるとの確認を条件として、コンテンツ再生に必要な情報、すなわち、ユニット鍵、コンテンツ管理情報、コンテンツ利用権情報を含むコンテンツ使用条件(Usage Rule)、記録媒体上の再生制御情報ではなくサーバから取得する制御情報に基づいて、再生時の動作制御を行うことを可能とするための動作制御情報、字幕データ、音声データ、静止画データ等のダウンロードデータをデータベース882から取得して再生装置870に送信する。なお、この送信データは、セッションキーによって暗号化して送信される。
- [0404] 再生装置870のユニット鍵取得&データ処理部874は、サーバ880から受信したユニット鍵を適用して、情報記録媒体860から読み出したコンテンツ861を構成するコンテンツ管理ユニット中の暗号化データを復号し、コンテンツ再生を行う、なお、この再生の際に、サーバ880から取得したコンテンツ管理情報、コンテンツ使用条件(Usage Rule)、動作制御情報、字幕データ、音声データ、静止画データ等のダウンロードデータを適用した制御、再生を行う。
- [0405] なお、再生装置870は、サーバから動作制御情報を取得した場合は、記録媒体上の再生制御情報ではなくサーバから取得する制御情報に基づいて、再生時の動作制御を行うことが可能となる。
- [0406] サーバから取得する動作制御情報の具体的利用態様としては、図34を参照して説明した動作制御情報利用例1～4と同様の利用態様が可能である。
- [0407] なお、上述の例では、サーバ880からの転送データとして、ユニット鍵の他にコンテンツ管理情報、コンテンツ利用権情報を含むコンテンツ使用条件(Usage Rule)、動作制御情報、字幕データ、音声データ、静止画データ等のダウンロードデータを示してあるが、これらは、コンテンツの再生に応じて必要であれば取得するデータであり、常に取得することを要するものではない。
- [0408] 図37は、サーバが、コンテンツ(コンテンツ管理ユニット)に対応する更新キーブロック

、すなわち、ユニット鍵、コンテンツ管理情報、コンテンツ利用権情報を含むコンテンツ使用条件(Usage Rule)、記録媒体上の再生制御情報ではなくサーバから取得する制御情報に基づいて、再生時の動作制御を行うことを可能とするための動作制御情報、字幕データ、音声データ、静止画データ等のダウンロードデータをデータベース934から取得して再生装置920に送信する。なお、この送信データは、セッションキーによって暗号化して送信される。

- [0414] 再生装置920のユニット鍵取得＆データ処理部924は、サーバ930から受信したユニット鍵を適用して、情報記録媒体910から読み出したコンテンツ911を構成するコンテンツ管理ユニット中の暗号化データを復号し、コンテンツ再生を行う、なお、この再生の際に、サーバ930から取得したコンテンツ管理情報、コンテンツ使用条件(Usage Rule)、動作制御情報、字幕データ、音声データ、静止画データ等のダウンロードデータを適用した制御、再生を行う。
- [0415] なお、再生装置920は、サーバ930から動作制御情報を取得した場合は、記録媒体上の再生制御情報ではなくサーバから取得する制御情報に基づいて、再生時の動作制御を行うことが可能となる。
- [0416] サーバから取得する動作制御情報の具体的利用態様としては、図34を参照して説明した動作制御情報利用例1～4と同様の利用態様が可能である。
- [0417] なお、上述の例では、サーバ930からの転送データとして、ユニット鍵の他にコンテンツ管理情報、コンテンツ利用権情報を含むコンテンツ使用条件(Usage Rule)、字幕データ、音声データ、静止画データ等のダウンロードデータを示してあるが、これらは、コンテンツの再生に応じて必要であれば取得するデータであり、常に取得することを要するものではない。
- [0418] 以上、特定の実施例を参照しながら、本発明について詳解してきた。しかしながら、本発明の要旨を逸脱しない範囲で当業者が該実施例の修正や代用を成し得ることは自明である。すなわち、例示という形態で本発明を開示してきたのであり、限定的に解釈されるべきではない。本発明の要旨を判断するためには、冒頭に記載した特許請求の範囲の欄を参酌すべきである。
- [0419] なお、明細書中において説明した一連の処理はハードウェア、またはソフトウェア、

用制御を行うことが可能となる。本発明によれば、コンテンツ利用制御を個々のコンテンツ管理ユニットを単位として行うことができるので、例えば多くのコンテンツを格納した情報記録媒体において、細分化したコンテンツ毎の管理が可能となり、DVD、青色レーザディスク等、大容量のデータ記録の可能なコンテンツ記録媒体にコンテンツを格納する際、著作権管理、または利用管理を細分化して行いたい場合の構成として適用可能である。

[0424] さらに、本発明の構成によれば、情報記録媒体の格納コンテンツの再生処理を実行する情報処理装置において、情報記録媒体の格納コンテンツから再生対象として選択したデータ領域の含まれるコンテンツ管理ユニットを識別し、識別したコンテンツ管理ユニットに対応するユニット鍵を選択して、選択したユニット鍵を適用してコンテンツ管理ユニットに含まれる暗号化データの復号処理を実行してコンテンツ再生を行う構成としたので、コンテンツ管理ユニット内のコンテンツ再生を確実に行うことが可能となる。またユニット切り替えの際には、ユニット鍵の切り替えを行うので、ユニットが切り替わった際にも適切な鍵を適用した復号によるコンテンツ再生が可能となり、コンテンツ管理ユニット単位の暗号処理を施した情報記録媒体の再生処理を行う情報処理装置に適用可能である。

[0425] さらに、本発明の構成によれば、情報記録媒体の格納コンテンツの再生処理を実行する情報処理装置において、情報記録媒体の格納コンテンツから再生対象として選択したデータ領域の含まれるコンテンツ管理ユニットを識別し、識別したコンテンツ管理ユニットに対応するユニット鍵を取得してコンテンツ再生等を実行する場合、コピー制御情報、再生制御情報などの動作制御情報を外部接続サーバから取得する構成が実現され、更新されたコピー制御情報を適用するなどの処理が可能となり、また、ユーザ識別子または再生装置識別子または情報記録媒体識別子に対応したコピー制御情報、再生制御情報などの動作制御情報を外部接続サーバから取得する構成が実現され、ユーザや再生装置などに対応した個別の動作制御に基づく処理を実行することが可能となる。従って、ユーザ対応あるいは再生装置、あるいはコンテンツ対応の再生制御またはコピー制御を行なう装置、方法に適用可能である。

図面の簡単な説明

ツなどのアプリケーションを並列に扱う場合の階層構成例を示す図である。

[図17]ムービーコンテンツ等に使用されるタイトルとゲームコンテンツ、WEBコンテンツなどのアプリケーションを並列に扱う場合の階層構成におけるCPSユニット設定例について説明する図である。

[図18]ムービーコンテンツ等に使用されるタイトルとゲームコンテンツ、WEBコンテンツなどのアプリケーションを並列に扱う場合の階層構成におけるCPSユニット設定におけるユニット構成およびユニット鍵管理テーブルの例を示す図である。

[図19]コンテンツのネットワーク独立、ネットワーク関連状態におけるコンテンツ利用態様、利用制限について説明する図である。

[図20]コンテンツのネットワーク独立、ネットワーク関連状態におけるコンテンツコピー制限について説明する図である。

[図21]コンテンツの状態管理テーブルのデータ例について説明する図である。

[図22]コンテンツのコンテンツ利用管理情報テーブルのデータ例について説明する図である。

[図23]コンテンツの状態に応じたコンテンツ管理情報を可変長データで記録したコンテンツ利用管理情報テーブルの例について説明する図である。

[図24]情報記録媒体におけるデータ格納ディレクトリ、管理テーブルの格納位置について説明する図である。

[図25]情報記録媒体を装着して再生する情報処理装置の構成例について説明する図である。

[図26]情報記録媒体格納コンテンツを利用するネットワーク構成例について説明する図である。

[図27]コンテンツ再生処理シーケンスを説明するフロー図である。

[図28]コンテンツコピー処理シーケンスを説明するフロー図である。

[図29]コンテンツストリーミング再生処理シーケンスを説明するフロー図である。

[図30]コンテンツ遠隔再生処理シーケンスを説明するフロー図である。

[図31]コンテンツの再生に必要なユニット鍵他の情報取得処理例を説明する図である。

- 373～375 アプリケーション実行ファイル
- 381～384 再生プログラム
- 411, 412 コンテンツ管理ユニット(CPSユニット)
- 415, 416 コンテンツ管理ユニット(CPSユニット)
- 421, 422 コンテンツ管理ユニット(CPSユニット)
- 431, 432 コンテンツ管理ユニット(CPSユニット)
- 441, 442 コンテンツ管理ユニット(CPSユニット)
- 451～454 コンテンツ管理ユニット(CPSユニット)
- 461～463 コンテンツ管理ユニット(CPSユニット)
- 501 コンテンツ管理情報構成データ
- 502 コンテンツ管理情報構成データ
- 503 コンテンツ管理情報構成データ
- 511 コンテンツデータ部
- 512 管理データ部
- 600 情報処理装置
- 601 バス
- 610 入出力I/F
- 620 TS・PS処理手段
- 630 MPEGコーデック
- 640 入出力I/F
- 641 A/D, D/Aコンバータ
- 650 暗号処理手段
- 660 ROM
- 670 CPU
- 680 メモリ
- 690 ドライブ
- 691 情報記録媒体
- 710 ホームネットワーク

- 870 再生装置
- 871 デバイスキー
- 872 認証処理部
- 873 更新鍵情報ブロック処理部
- 874 ユニット鍵取得&データ処理部
- 880 サーバ
- 881 認証キーデータベース
- 882 データベース
- 883 認証処理部
- 884 データ処理部
- 910 情報記録媒体
- 911 コンテンツ
- 920 再生装置
- 921 デバイスキー
- 922 更新鍵情報ブロック処理部
- 923 認証処理部
- 924 ユニット鍵取得&データ処理部
- 930 サーバ
- 931 更新鍵情報ブロック(RKB)データベース
- 932 認証キーデータベース
- 933 認証処理部
- 934 データベース
- 935 データ処理部

、および対応ユニット鍵が決定可能な構成である情報記録媒体。

[5] 請求項1に記載の情報記録媒体において、  
前記情報記録媒体において設定された少なくとも一部のコンテンツ管理ユニットは  
、  
前記情報記録媒体に格納された複数のコンテンツ再生区間指定ファイル各々に対応付けて設定されるユニットであり、情報記録媒体を装着した再生装置において実行するコンテンツ再生処理プログラムによって選択されたコンテンツ再生区間指定ファイルに基づいて唯一のコンテンツ管理ユニット、および対応ユニット鍵が決定可能な構成である情報記録媒体。

[6] 請求項1に記載の情報記録媒体において、  
前記情報記録媒体において設定された少なくとも一部のコンテンツ管理ユニットは  
、  
前記情報記録媒体に格納された複数のコンテンツ実データ格納ファイルとしてのクリップファイル各々に対応付けて設定されるユニットであり、情報記録媒体を装着した再生装置において実行するコンテンツ再生処理プログラムによって選択された再生クリップファイルに基づいて唯一のコンテンツ管理ユニット、および対応ユニット鍵が決定可能な構成である情報記録媒体。

[7] 請求項1に記載の情報記録媒体において、  
前記情報記録媒体において設定されたコンテンツ管理ユニットは、  
前記情報記録媒体に格納されたコンテンツ実データを含む第1のユニットと、  
コンテンツ実データを含まず、情報記録媒体に格納されたアプリケーションインデックスファイルに対応するアプリケーション実行ファイルを含む第2のユニットとを含み、  
前記第1のユニットおよび第2のユニットは、それぞれ異なるユニット鍵によって暗号化処理のなされたデータファイル、またはプログラムファイルの少なくともいずれかを含む構成である情報記録媒体。

[8] 請求項1に記載の情報記録媒体において、  
前記情報記録媒体において設定された少なくとも一部のコンテンツ管理ユニットは  
、

- [14] 請求項12に記載の情報記録媒体において、  
前記状態管理テーブルは、各コンテンツ管理ユニット毎の初期状態情報および現在の状態情報を格納したテーブルである情報記録媒体。
- [15] 請求項1に記載の情報記録媒体において、  
前記コンテンツ管理ユニット各々に対応するコンテンツ利用に関する制限情報を格納したコンテンツ利用管理情報テーブルを格納した構成である情報記録媒体。
- [16] 請求項15に記載の情報記録媒体において、  
前記コンテンツ利用管理情報テーブルは、  
前記コンテンツ管理ユニットがネットワーク独立状態にある場合と、ネットワーク関連状態にある場合の利用制限情報を記録したテーブルである情報記録媒体。
- [17] 請求項15に記載の情報記録媒体において、  
前記コンテンツ利用管理情報テーブルは、  
外部から取得可能な動作制御情報に基づく制御対象コンテンツであることを示す情報を有する構成である情報記録媒体。
- [18] 請求項17に記載の情報記録媒体において、  
前記コンテンツ利用管理情報テーブルは、  
前記動作制御情報の取得用サーバの指定情報を含む構成である情報記録媒体。
- [19] 請求項1に記載の情報記録媒体において、  
前記情報記録媒体は、  
オリジナルコンテンツの他に、コピー処理用またはストリーミング再生用コンテンツを格納した構成である情報記録媒体。
- [20] 請求項19に記載の情報記録媒体において、  
前記コピー処理用またはストリーミング再生用コンテンツは、前記オリジナルコンテンツと異なるデータフォーマットを持つ構成である情報記録媒体。
- [21] 情報記録媒体の格納コンテンツの再生処理を実行する情報処理装置であり、  
情報記録媒体の格納コンテンツまたは格納プログラムから再生または実行対象として選択したデータ領域の含まれるコンテンツ管理ユニットを識別し、識別したコンテンツ管理ユニットに対応するユニット鍵を取得するユニット鍵取得部と、

バとの認証処理を実行する認証処理部とを有し、

前記ユニット鍵取得部またはデータ処理部は、前記認証の成立を条件として、前記サーバからのユニット鍵を含むコンテンツ再生に必要な情報の取得処理を実行する構成である情報処理装置。

[27] 請求項21に記載の情報処理装置において、

前記データ処理部は、

前記コンテンツ管理ユニットについて、ネットワーク独立状態にあるか、ネットワーク関連状態にあるかの状態を判定し、判定状態に対応したコンテンツの利用制御を行う構成である情報処理装置。

[28] 請求項27に記載の情報処理装置において、

前記コンテンツの利用制御は、前記コンテンツ管理ユニット各自の利用に関する制限情報を格納したコンテンツ利用管理情報テーブルに基づいて実行する構成である情報処理装置。

[29] 請求項21に記載の情報処理装置において、

前記データ処理部は、

ネットワーク接続サーバから、前記情報記録媒体の格納コンテンツに対応する動作制御情報を受領し、該受領動作制御情報に基づく制御に従って、前記情報記録媒体の格納コンテンツの再生またはコピー処理を実行する構成である情報処理装置。

[30] 請求項21に記載の情報処理装置において、

前記データ処理部は、

ユーザ識別子、または情報処理装置識別子、または情報記録媒体識別子の少なくともいづれかの識別情報をネットワーク接続サーバに通知し、前記ネットワーク接続サーバから、通知識別子に対応する動作制御情報を受領し、該受領動作制御情報に基づく制御に従って、前記情報記録媒体の格納コンテンツの再生またはコピー処理を実行する構成である情報処理装置。

[31] 情報記録媒体の格納コンテンツの再生または格納プログラムの実行処理を実行する情報処理方法であり、

情報記録媒体の格納コンテンツまたは格納プログラムから再生または実行対象とし

によりネットワーク接続サーバとの認証処理に適用する認証キーを取得する更新鍵情報ブロック処理ステップと、

前記更新鍵情報ブロック処理ステップにおける処理によって取得した認証キーを適用したサーバとの認証処理を実行する認証処理ステップと、

前記認証の成立を条件として、前記サーバからのユニット鍵を含むコンテンツ再生に必要な情報の取得処理を実行するステップと、

を有する情報処理方法。

[37] 請求項31に記載の情報処理方法において、さらに、

前記コンテンツ管理ユニットについて、ネットワーク独立状態にあるか、ネットワーク関連状態にあるかの状態を判定し、該状態に対応したコンテンツの利用制御を行うステップを有する情報処理方法。

[38] 請求項37に記載の情報処理方法において、

前記コンテンツの利用制御は、前記コンテンツ管理ユニット各々の利用に関する制限情報を格納したコンテンツ利用管理情報テーブルに基づいて実行する情報処理方法。

[39] 請求項31に記載の情報処理方法において、さらに、

ネットワーク接続サーバから、前記情報記録媒体の格納コンテンツに対応する動作制御情報を受領し、該受領動作制御情報に基づく制御に従って、前記情報記録媒体の格納コンテンツの再生またはコピー処理を実行するステップを有する情報処理方法。

[40] 請求項31に記載の情報処理方法において、さらに、

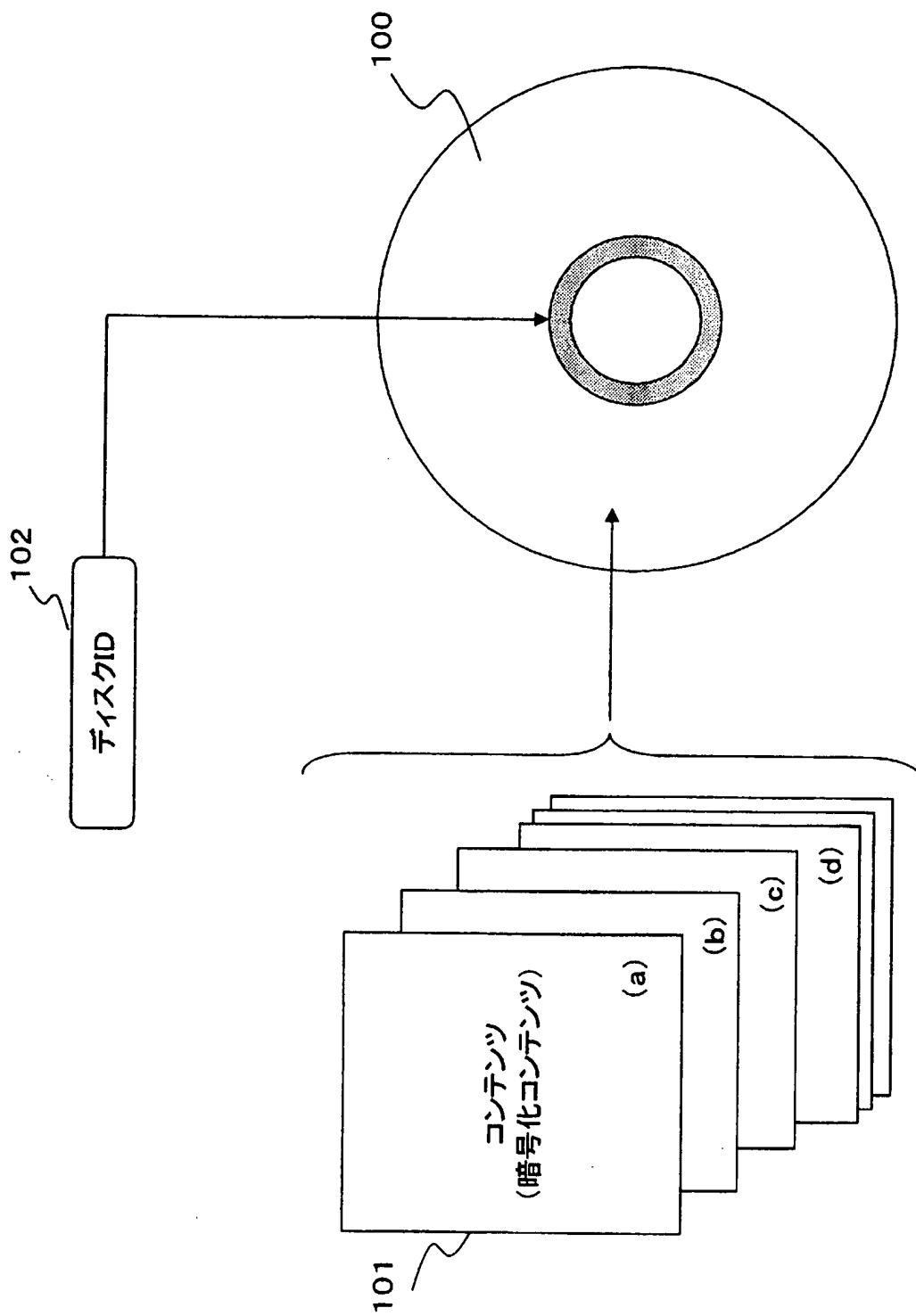
ユーザ識別子、または情報処理装置識別子、または情報記録媒体識別子の少なくともいづれかの識別情報をネットワーク接続サーバに通知するステップと、

前記ネットワーク接続サーバから、通知識別子に対応する動作制御情報を受領するステップと、

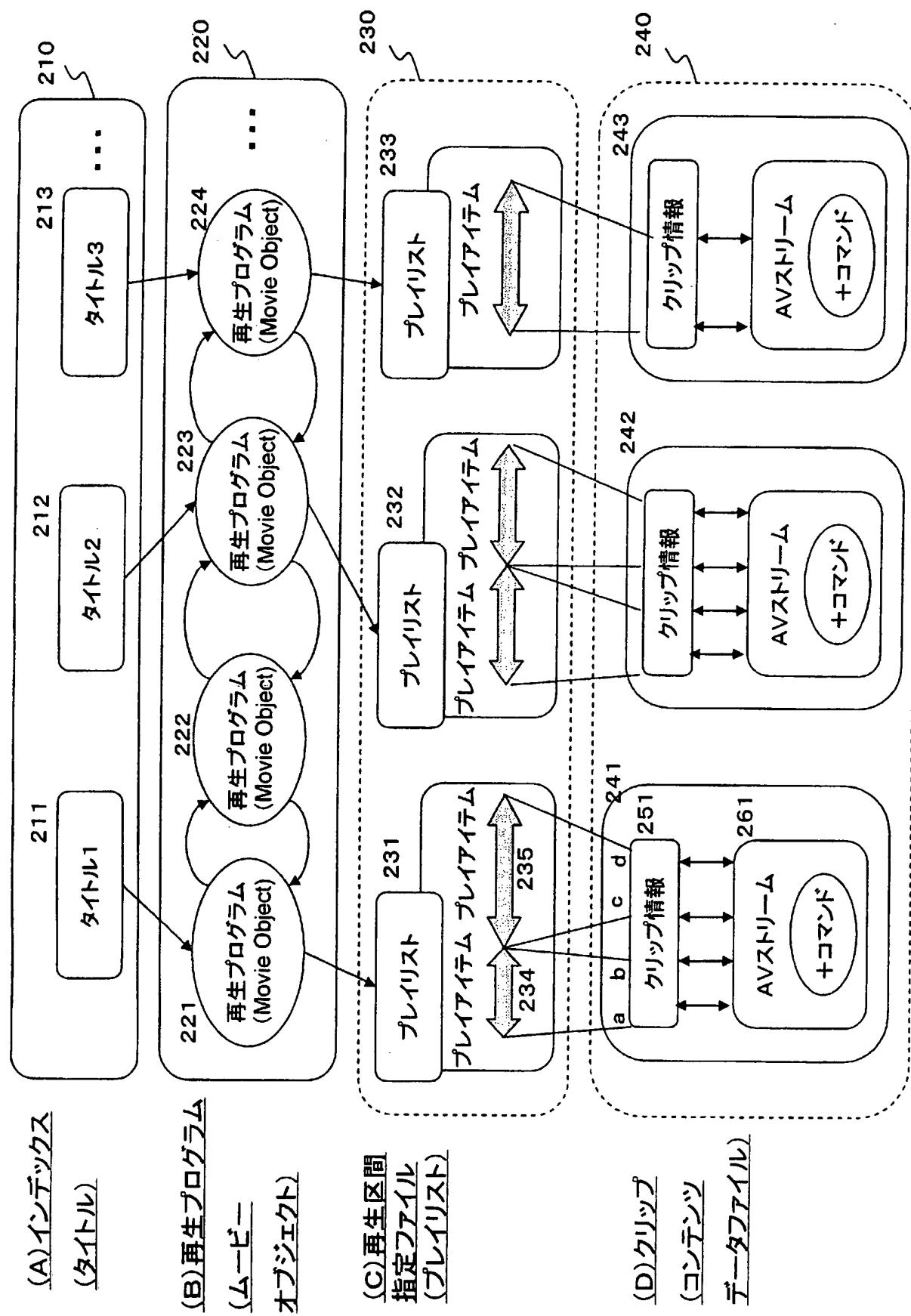
前記動作制御情報に基づく制御に従って、前記情報記録媒体の格納コンテンツの再生またはコピー処理を実行するステップと、

を有する情報処理方法。

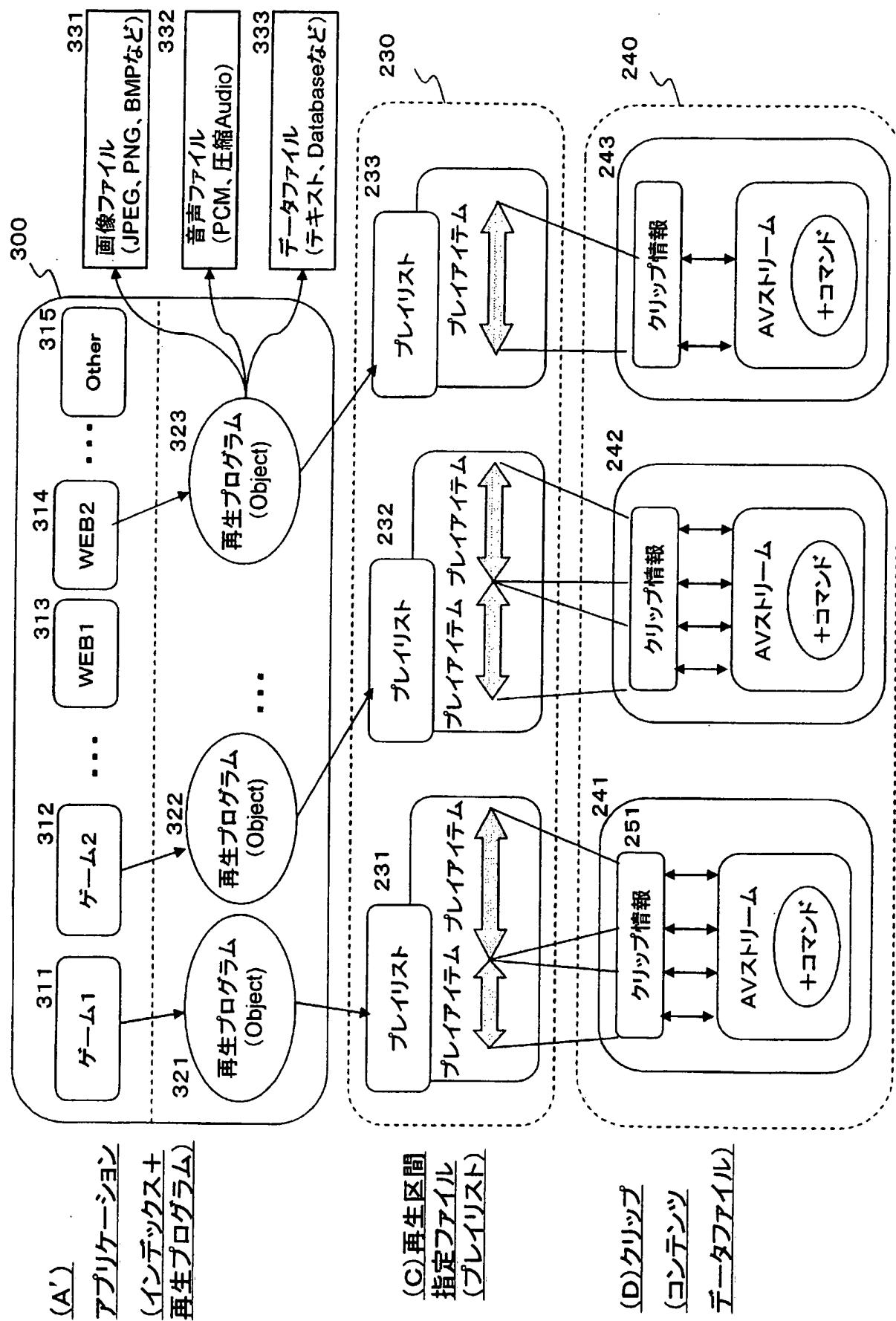
[図1]



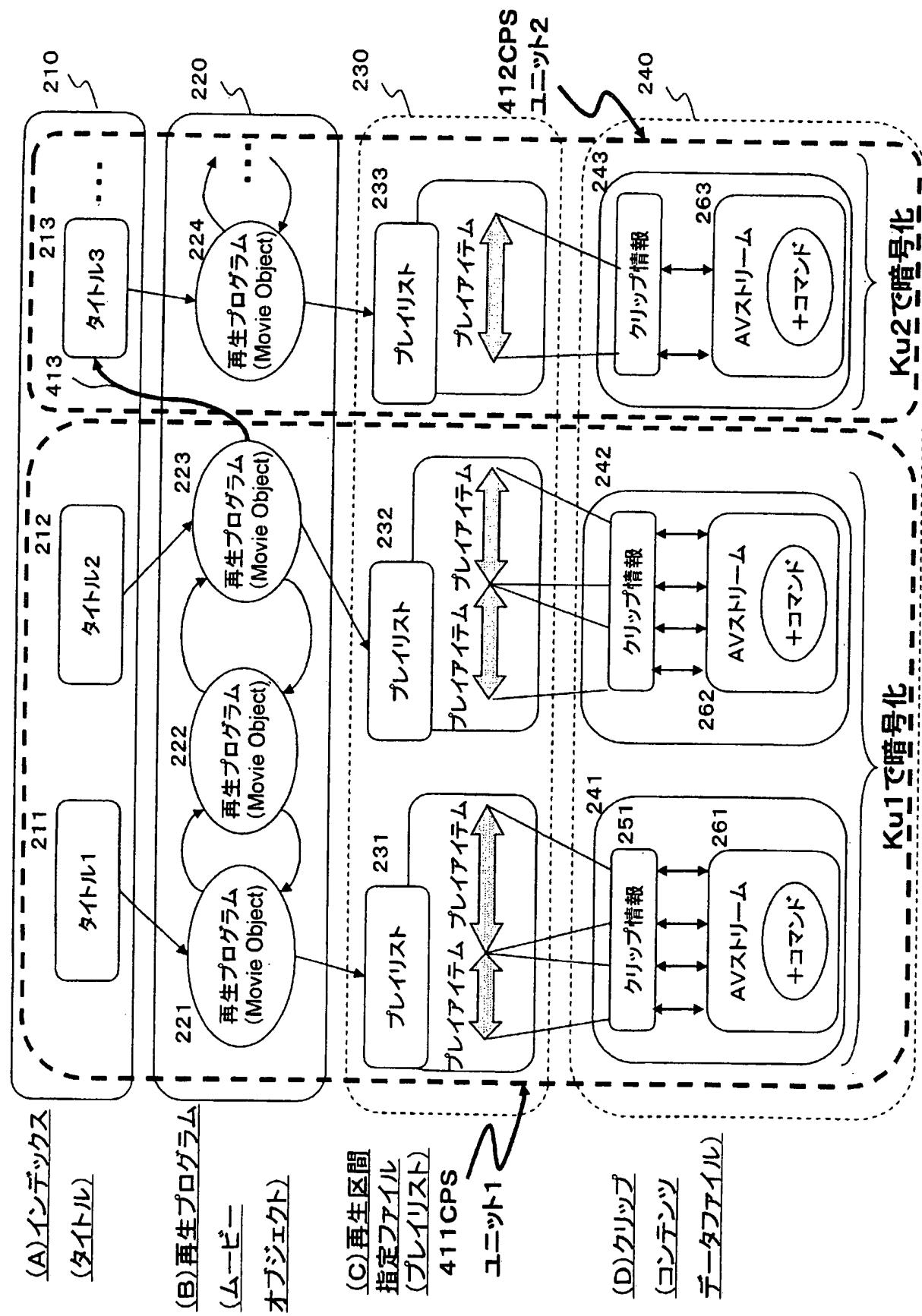
[図2]



[ 3]



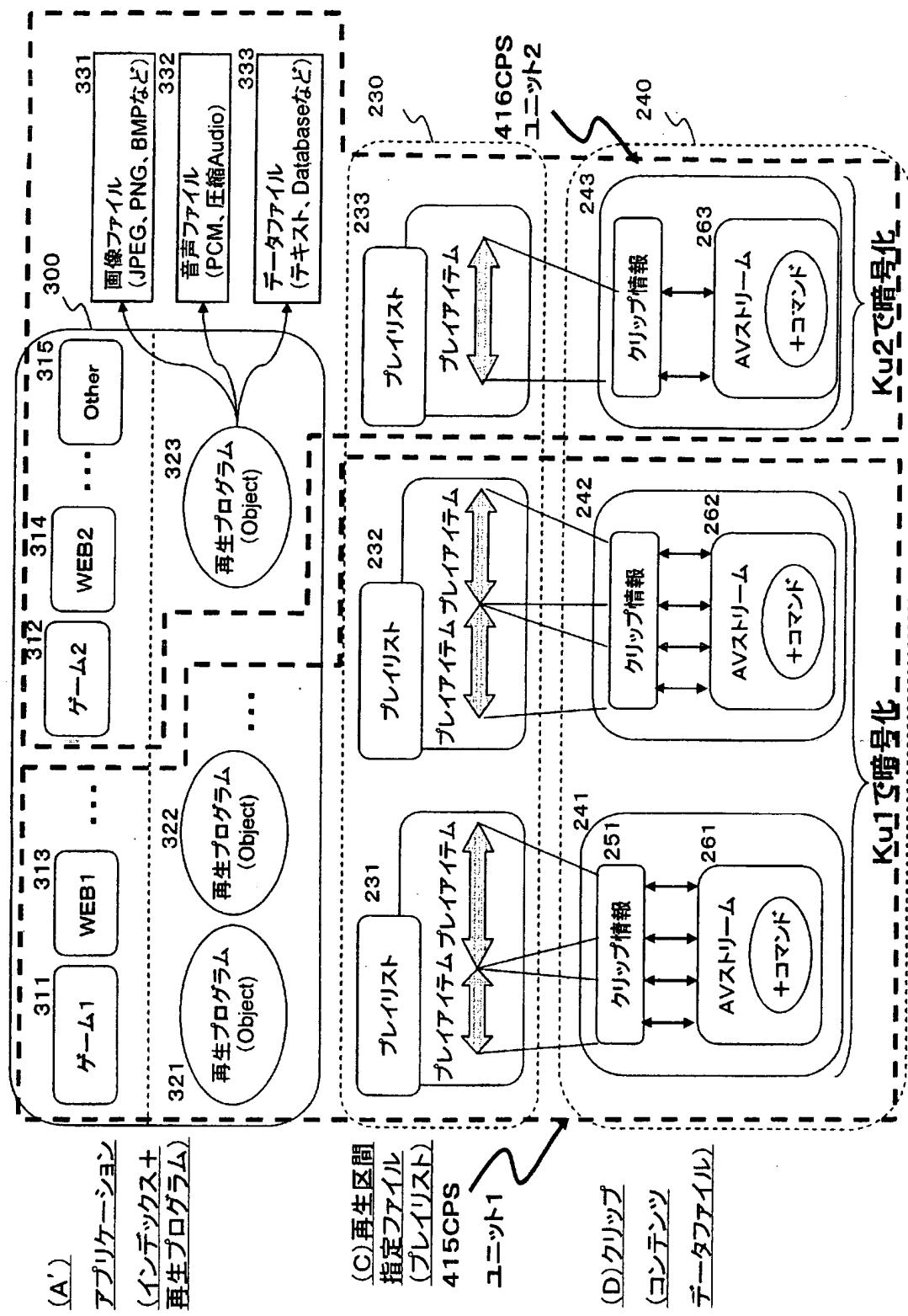
[図4]



[図5]

タイトル	コンテンツ管理ユニット (CPS)	ユニット鍵 (CPS)
タイトル1	CPS1	Ku1
タイトル2	CPS1	Ku1
タイトル3	CPS2	Ku2
:	:	:
タイトルn	CPSm	Kum

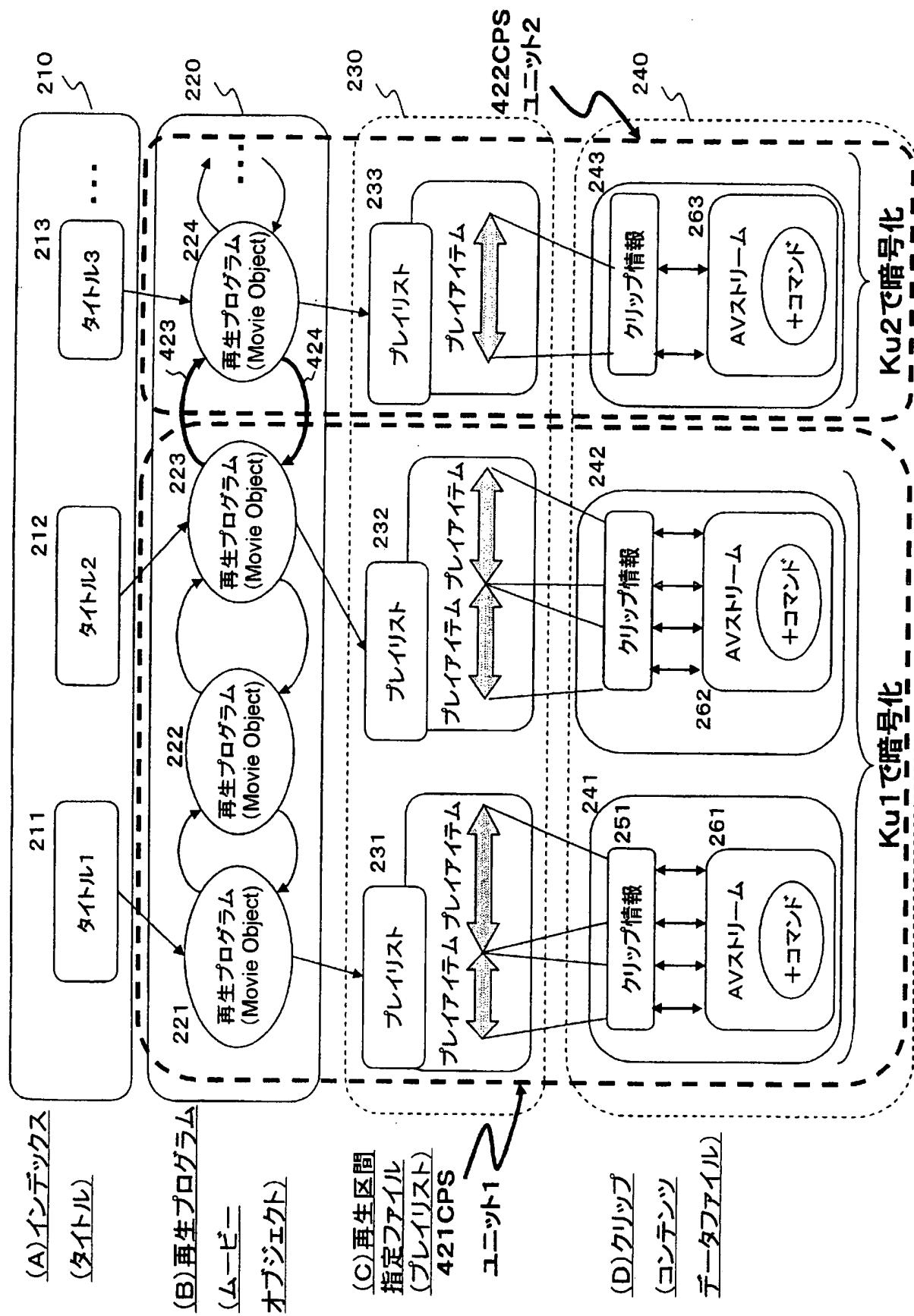
[図6]



[図7]

アプリケーション インデックス	コンテンツ管理ユニット (CPS)	ユニット鍵 (CPS)
ゲーム1	CPS1	Ku1
ゲーム2	CPS2	Ku2
WEB1	CPS1	Ku1
:	:	:
Others	CPSm	Kum

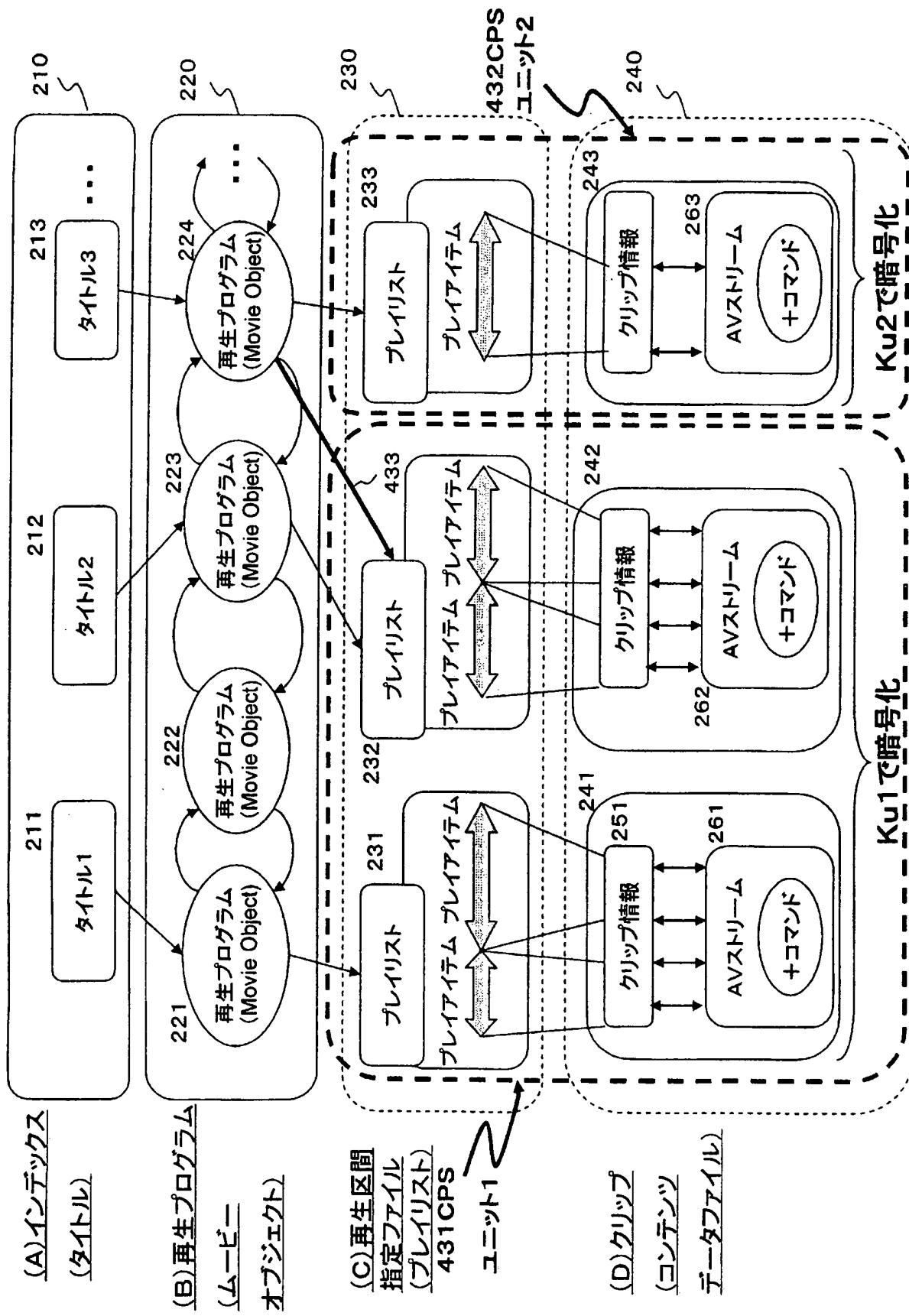
[図8]



[図9]

再生プログラム (Movie Object)	コンテンツ管理ユニット (CPS)	ユニット鍵 (CPS)
再生プログラム1	CPS1	Ku1
再生プログラム2	CPS1	Ku1
再生プログラム3	CPS2	Ku2
:	:	:
再生プログラムn	CPSm	Kum

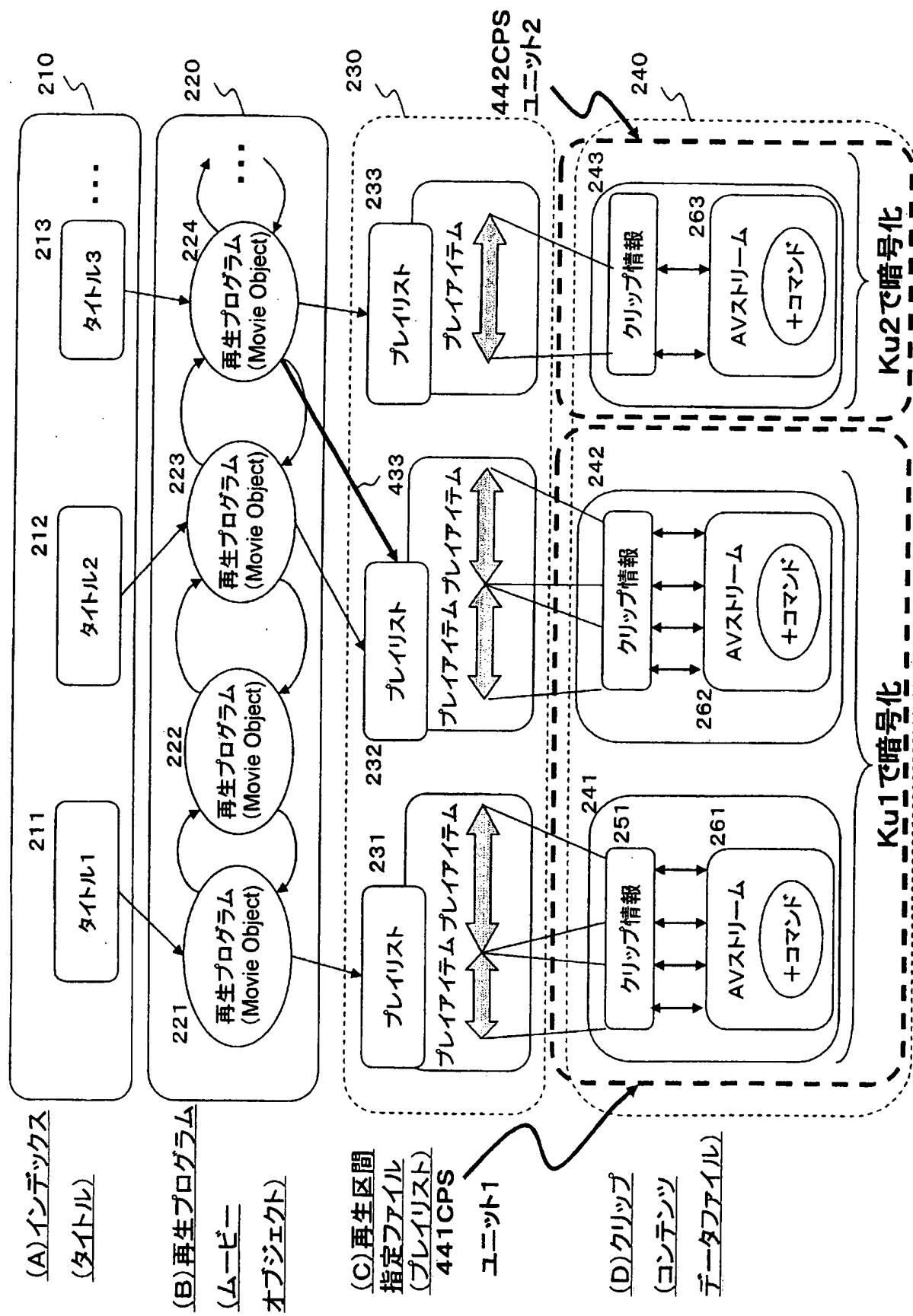
[図10]



[図11]

再生区間指定ファイル (プレイリスト)	コンテンツ管理ユニット (CPS)	ユニット鍵 (CPS)
プレイリスト1	CPS1	Ku1
プレイリスト2	CPS1	Ku1
プレイリスト3	CPS2	Ku2
:	:	:
プレイリストn	CPSm	Kum

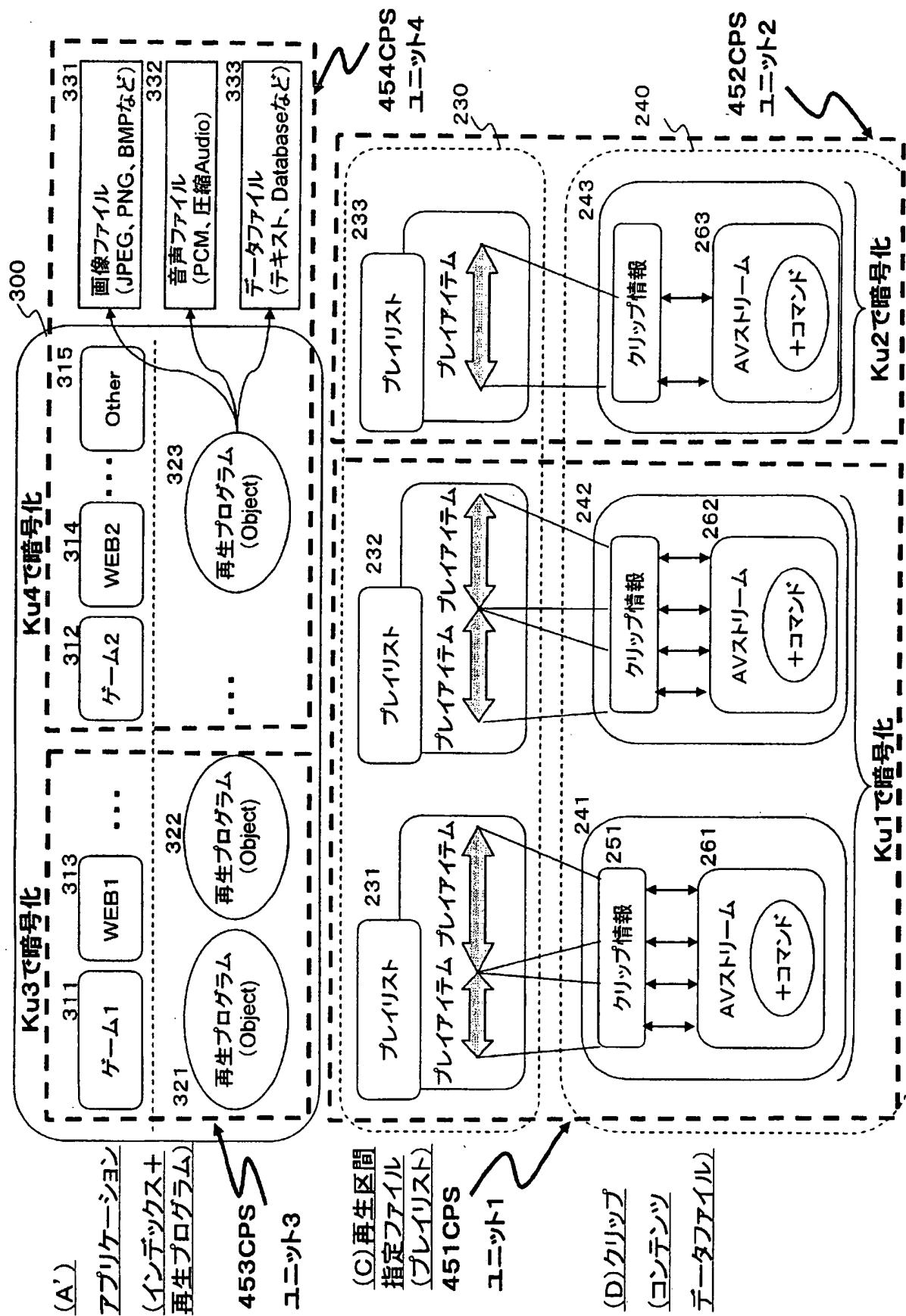
[図12]



[図13]

クリップ	コントローラ管理ユニット (CPS)	ユニット鍵 (CPS)
クリップ1	CPS1	Ku1
クリップ2	CPS1	Ku1
クリップ3	CPS2	Ku2
:	:	:
クリップn	CPSm	Kum

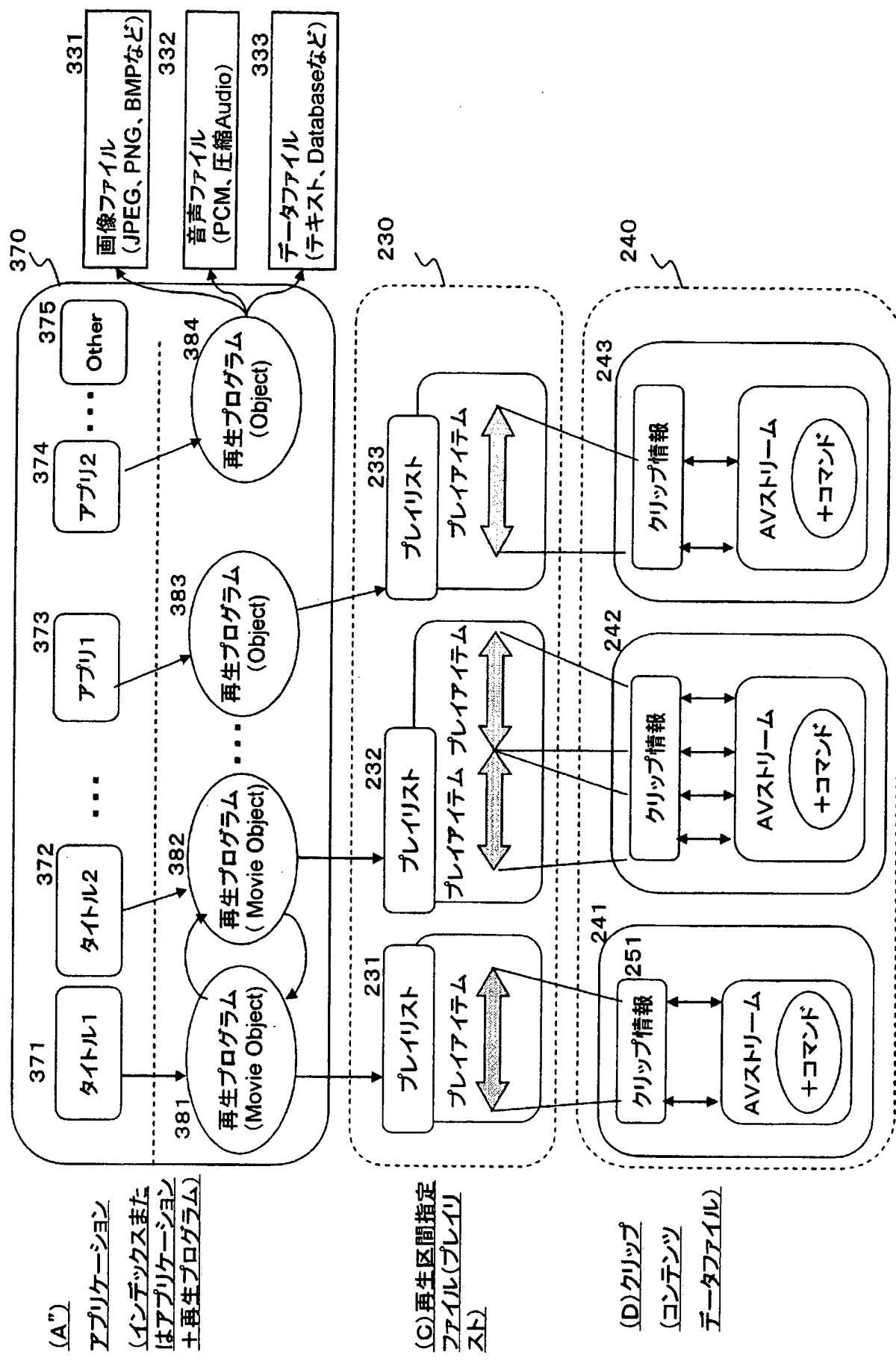
[図14]



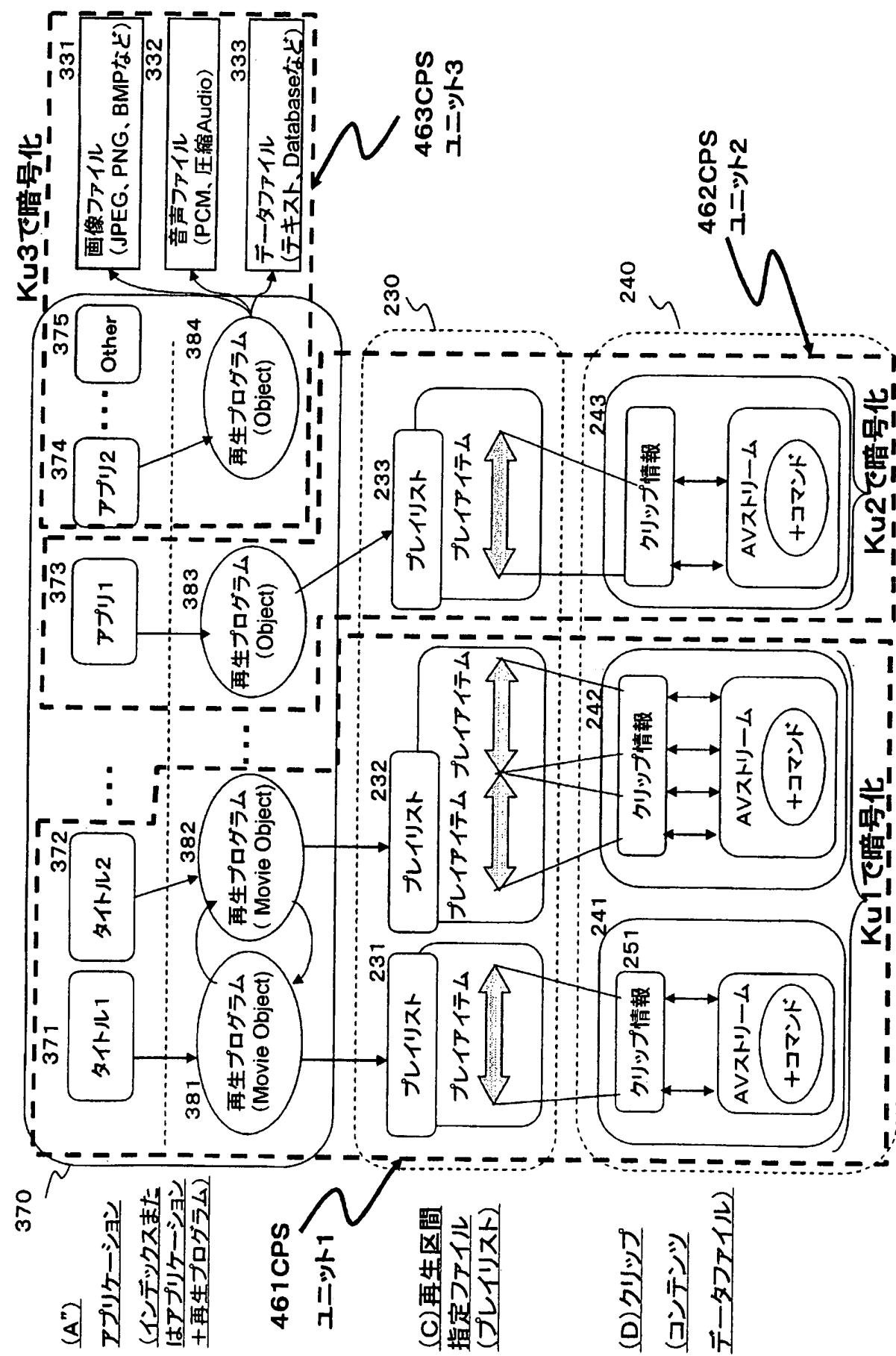
[図15]

アプリケーション インデックス	再生区間指定ファイル (プレイリスト)	コンテンツ管理ユニット (CPS)	ユニット鍵 (CPS)
	プレイリスト1	CPS1	Ku1
	プレイリスト2	CPS1	Ku1
	プレイリスト3	CPS2	Ku2
デーム1		CPS3	Ku3
デーム2		CPS4	Ku4
WEB1		CPS3	Ku3
:		:	:
Others		CPSm	Kum

[図16]



[圖 17]

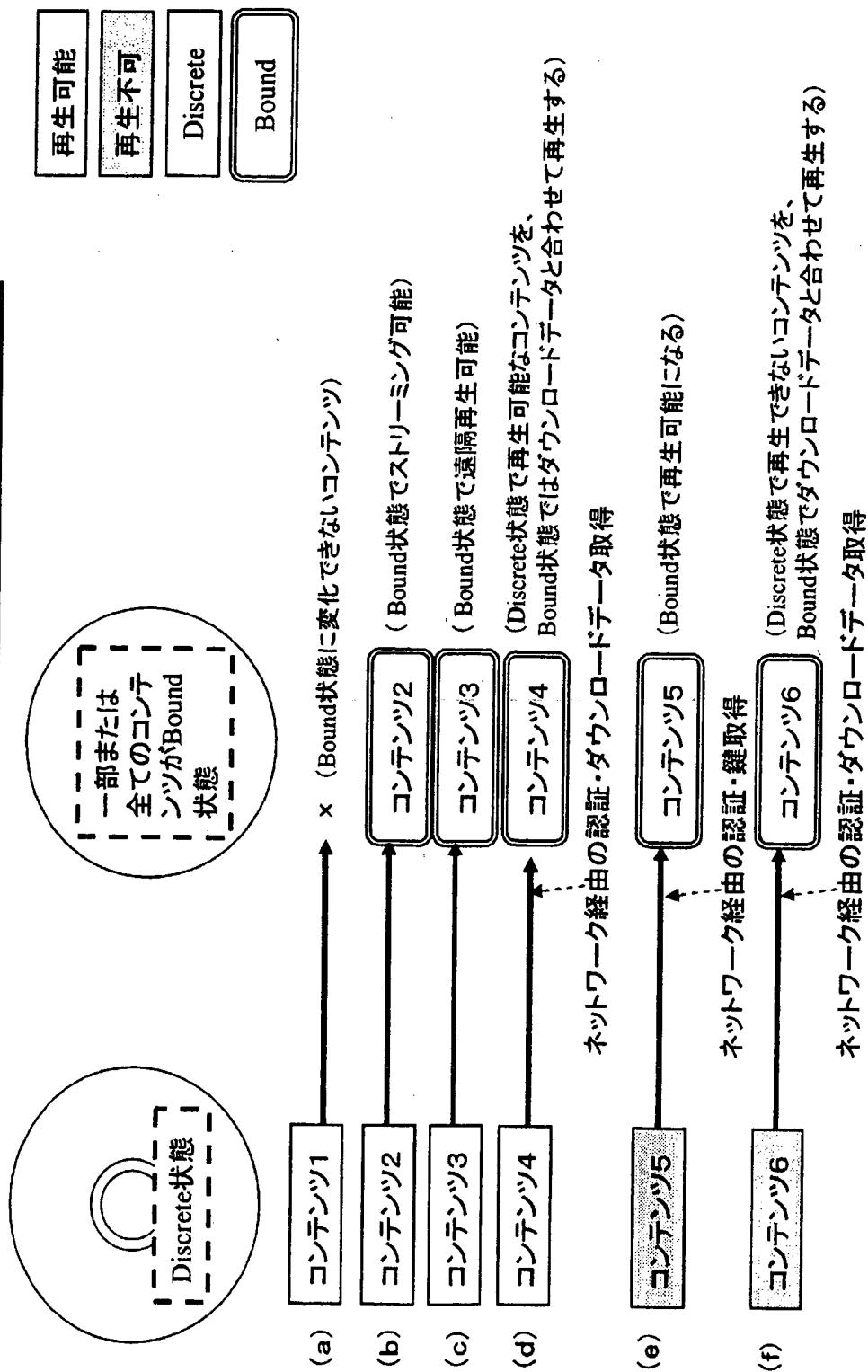


[図18]

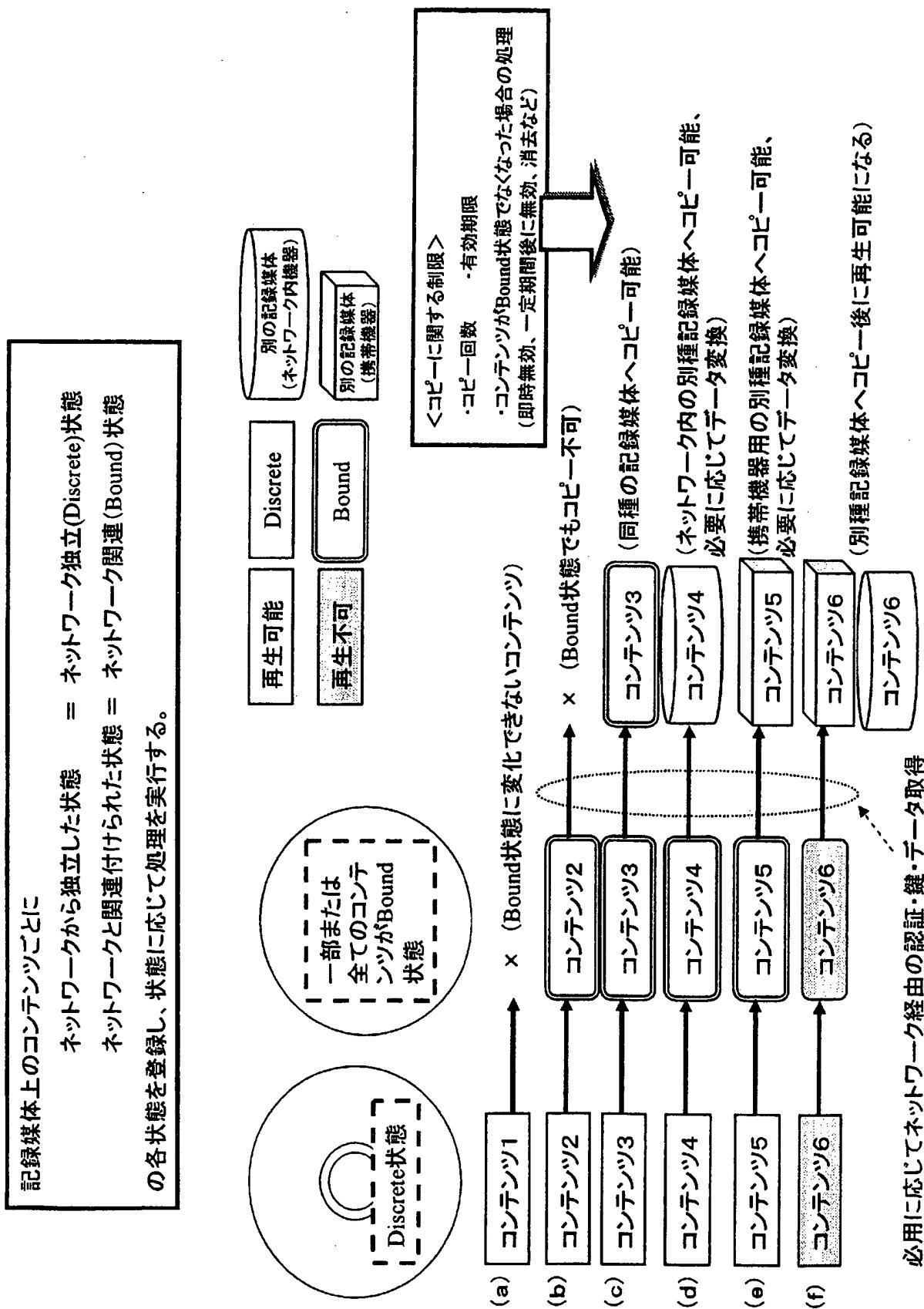
アプリケーション層における インデックスまたは アプリケーションファイル	コンテナツップ管理ユニット (CPS)	ユニット鍵 (CPS)
タイトル1	CPS1	Ku1
タイトル2	CPS1	Ku1
アプリケーション1	CPS2	Ku2
アプリケーション2	CPS3	Ku3
:	:	:
Others	CPSm	Kum

[図19]

(A) 記録媒体上のコンテンツごとに  
ネットワークから独立した状態 = ネットワーク独立(Discrete)状態  
ネットワークと関連付けられた状態 = ネットワーク関連(Bound)状態  
の各状態を登録し、状態に応じて処理を実行する。



[図20]



[図21]

コンテンツ管理ユニット (CPS)	初期状態	現状態
CPS1	Discrete only	Discrete
CPS2	Discrete initially	Bound
CPS3	Bound only	Bound
CPS4	Bound initially	Discrete
⋮	⋮	⋮
CPSm	Discrete only	Discrete

[図22]

```

field名 num_of_bits
Num_of_Content 16
for(I=0; I<Num_of_Content; I++){
  CCI_and_other_info_for_Content[I] 128
}

```

CCI_and_other_info_for_Content[I]の中身:		以下の情報の一部または全てをフラグ、値によって保持する。(値が使用するbit数は任意)	
<Discrete状態での動作>		(フラグ/値)	(内容)
再生	フラグ	OK/NG	「縫配信サーバーへ接続」、「録の入ったメモリカード挿入」など
Discrete状態で再生できないコンテンツの再生方法	値	値	サーバーリストへのインデックス値
<Bound状態での動作>			
コピー・ストリーミング互換性情報			
コピー・ストリーミング時のデータ変換方式			
ネットワーク内の同種記録媒体へのコピー可否	値	値	コンテンツをネットワーク内の他の機器で再生するための互換性情報
ネットワーク内の同種記録媒体へのコピー回数	フラグ	OK/NG	コンテンツを他の機器用に変換する際に使用できる方式
ネットワーク内の同種記録媒体へのコピー有効期限	値	回数	
ネットワーク内の他種記録媒体へのコピー可否	フラグ	OK/NG	
ネットワーク内の他種記録媒体へのコピー回数	値	有効期限	
ネットワーク内の他種記録媒体へのコピー有効期限	フラグ	OK/NG	
ネットワーク内の他種記録媒体へのコピー用データの有無	値	回数	コピー用のデータを指定するインデックス値
ネットワーク内の他種記録媒体へのコピー用データの指定	フラグ	OK/NG	
ネットワークへのコピー可否	値	有効期限	コピー用のデータを指定するインデックス値
携帯機器へのコピー回数	フラグ	OK/NG	
携帯機器へのコピー有効期限	値	回数	対象機器を限定
携帯機器へのコピー用データの指定	フラグ	OK/NG	対象機器を限定
ストリーミングの可否	値	有効期限	コピーを即時無効化、一定期間後に無効化、消去など
ストリーミング受信対象指定	フラグ	OK/NG	ダウンロードデータの種別(字幕、Audio、静止画など)
遠隔再生の可否	値	値	「ダウンロードサーバーへ接続」、「データの入ったメモリカード挿入」など
遠隔再生受信対象指定	フラグ	値	ダウンロードサーバーへのインデックス値
コンテンツがBound状態でなくなった場合の処理	値	値	サーバーから取得した動作制御情報を従う
ダウンロードデータの取得方法	フラグ	値	動作制御情報取得用サーバーを示すサーバーリストへのインデックス値
ど			
ダウンロードサーバーの指定	フラグ		
サーバーから動作制御情報を取得する			
動作制御情報取得用サーバーの指定			

## (A) 全情報を1つのループに入れる場合

```

field名 num_of_bits
Num_of_Content 16
for(I=0; I<Num_of_Content; I++){
  Num_of_function[] 16
  for(J=0; J<Num_of_function; J++){
    CCI_and_other_info_length 16
    CCI_and_other_info_type 8
    CCI_and_other_info_value 8
    Additional_info N
  }
}

```

## (B) 状態ごとにループを分ける場合

```

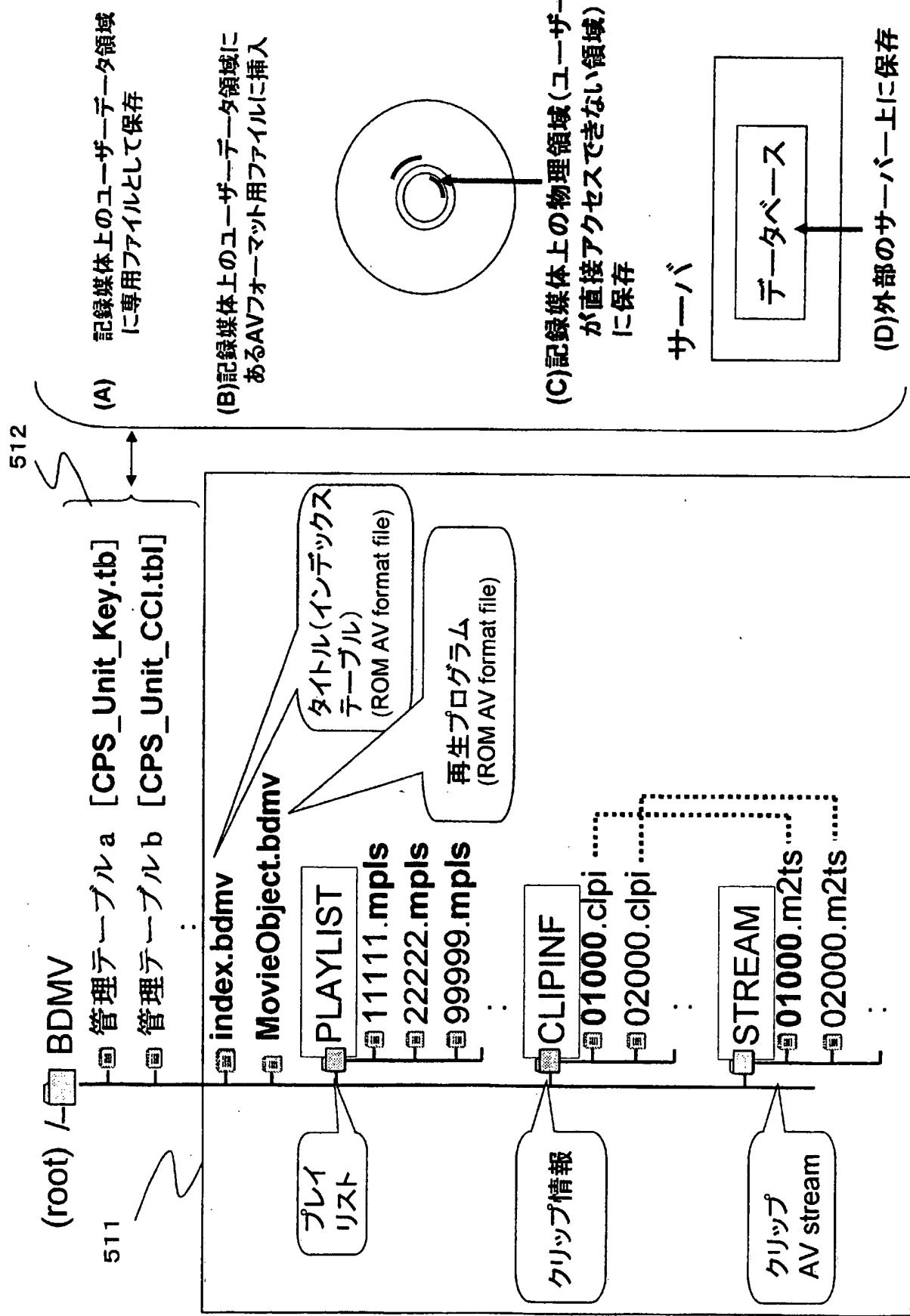
field名 num_of_bits
Num_of_Content 16
for(I=0; I<Num_of_Content; I++){
  Num_of_Discrete_function[] 16
  for(J=0; J<Num_of_function; J++){
    CCI_and_other_info_length 16
    CCI_and_other_info_type 8
    CCI_and_other_info_value 8
    Additional_info N
  }
}
Num_of_Bound_function[] 16
for(J=0; J<Num_of_function; J++){
  CCI_and_other_info_length 16
  CCI_and_other_info_type 8
  CCI_and_other_info_value 8
  Additional_info N
}

```

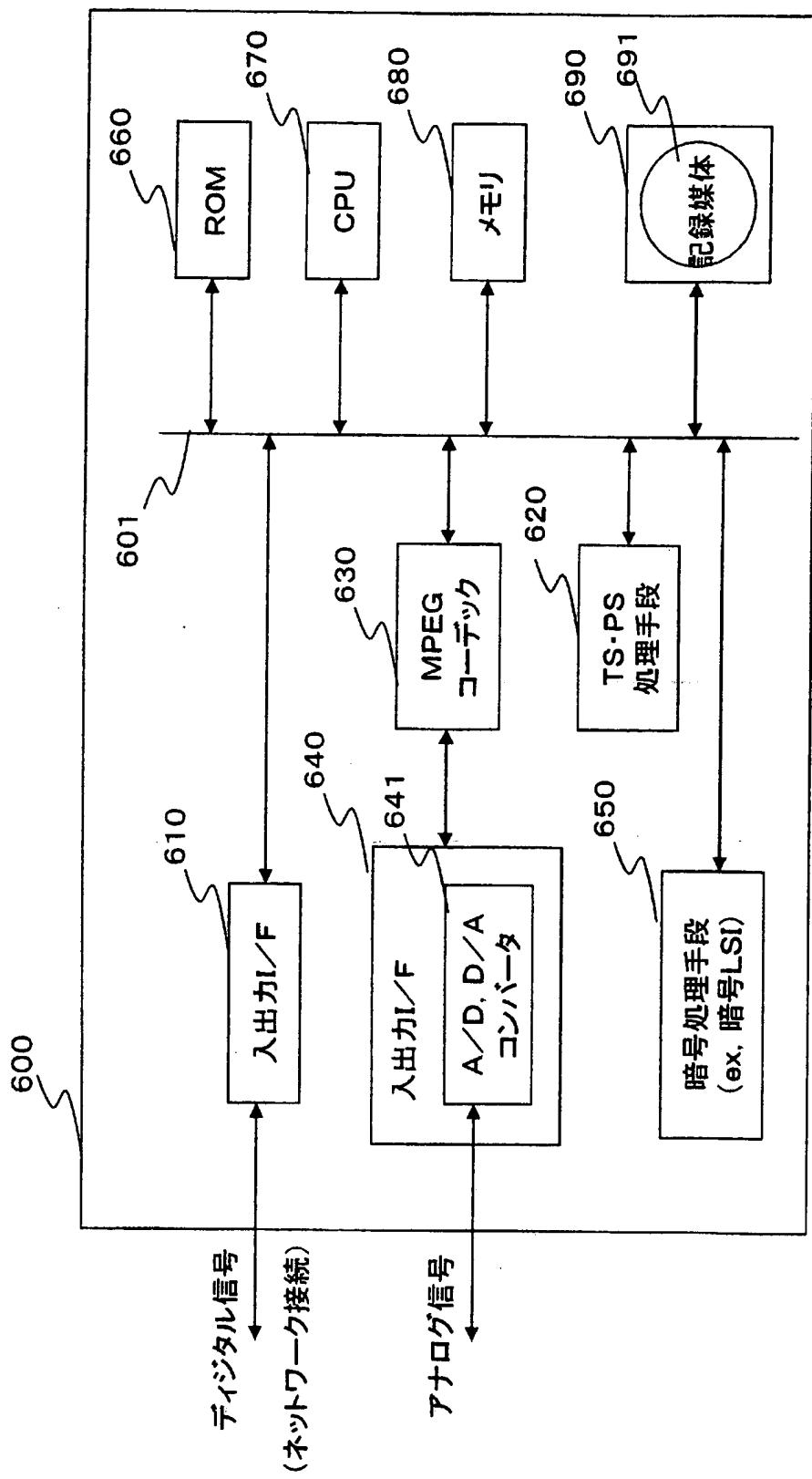
“CCI_and_other_info_type”	“CCI_and_other_info_value”	“Additional_info”
Discrete状態での再生	OK/NG	Discrete状態で再生できないコンテンツの再生方法
ネットワーク内の同種記録媒体へのコピー	OK/NG	コピー回数、有効期限
ネットワーク内の他種記録媒体へのコピー	OK/NG	コピー回数、有効期限、コピー用データの有無、コピー用データ指定
携帯機器へのコピー	OK/NG	コピー回数、有効期限、コピー用データの有無、コピー用データ指定
ネットワーク内のストリーミング	OK/NG	コピー時にデータ変換を行う場合の方式指定
ネットワーク内の遠隔再生	OK/NG	ストリーミング対象機器指定
Bound状態でなくなりた場合の処理	値	ストリーミング用データの有無、ストリーミング用データ指定
ダウンロードデータの再生	値(データ種別)	遠隔再生の対象機器指定
サーバーからの動作制御情報取得用情報	値	コピーを即時無効化、一定期間後に無効化、消去など
ユーザ一定基情報		ダウンロードデータの取得方法、ダウンロードサーバーの指定
		サーバーの指定
502		コンテンツ所有者が独自に定義
503		コンテンツの所有者が独自に定義

[図23]

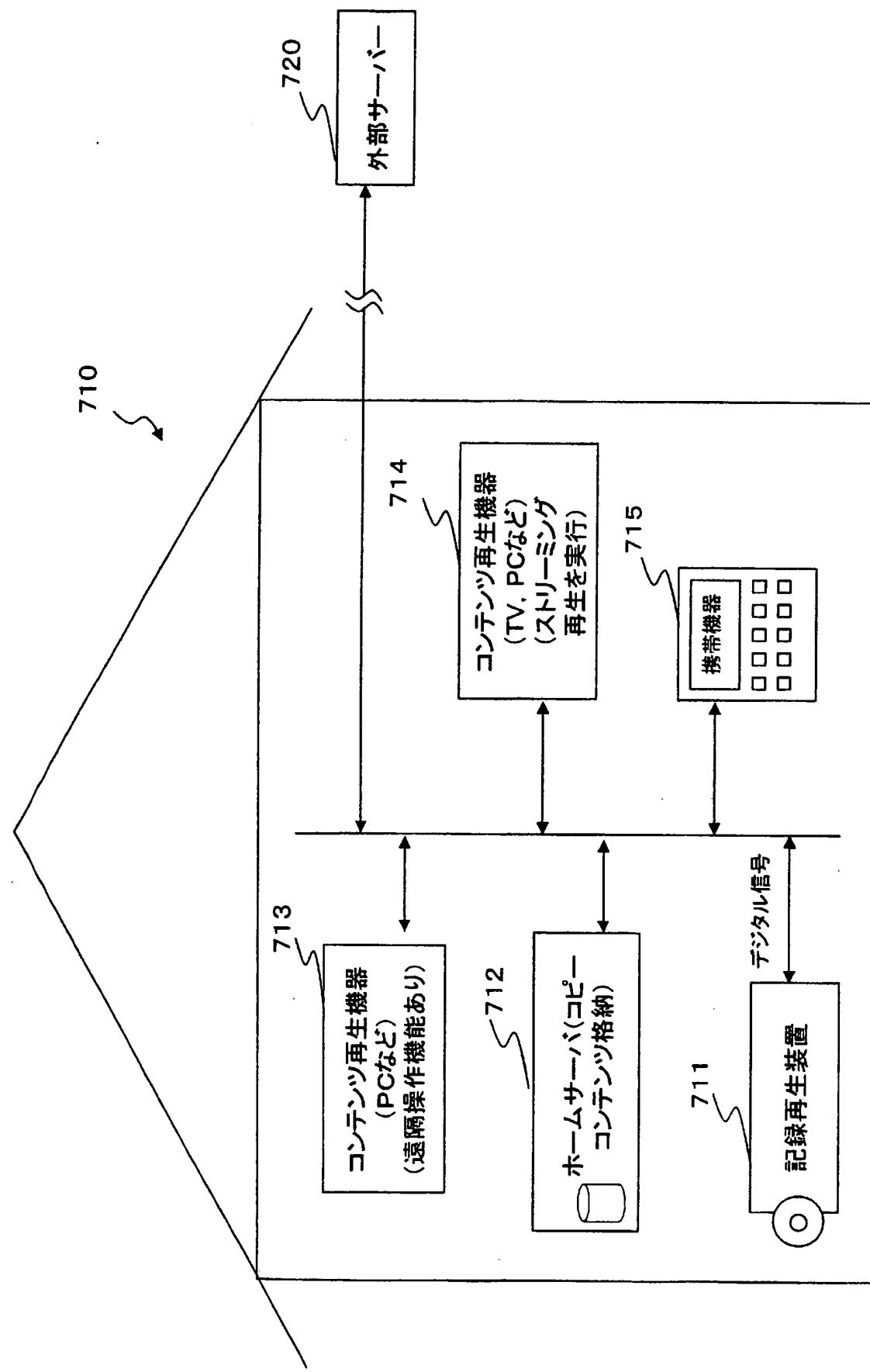
[図24]



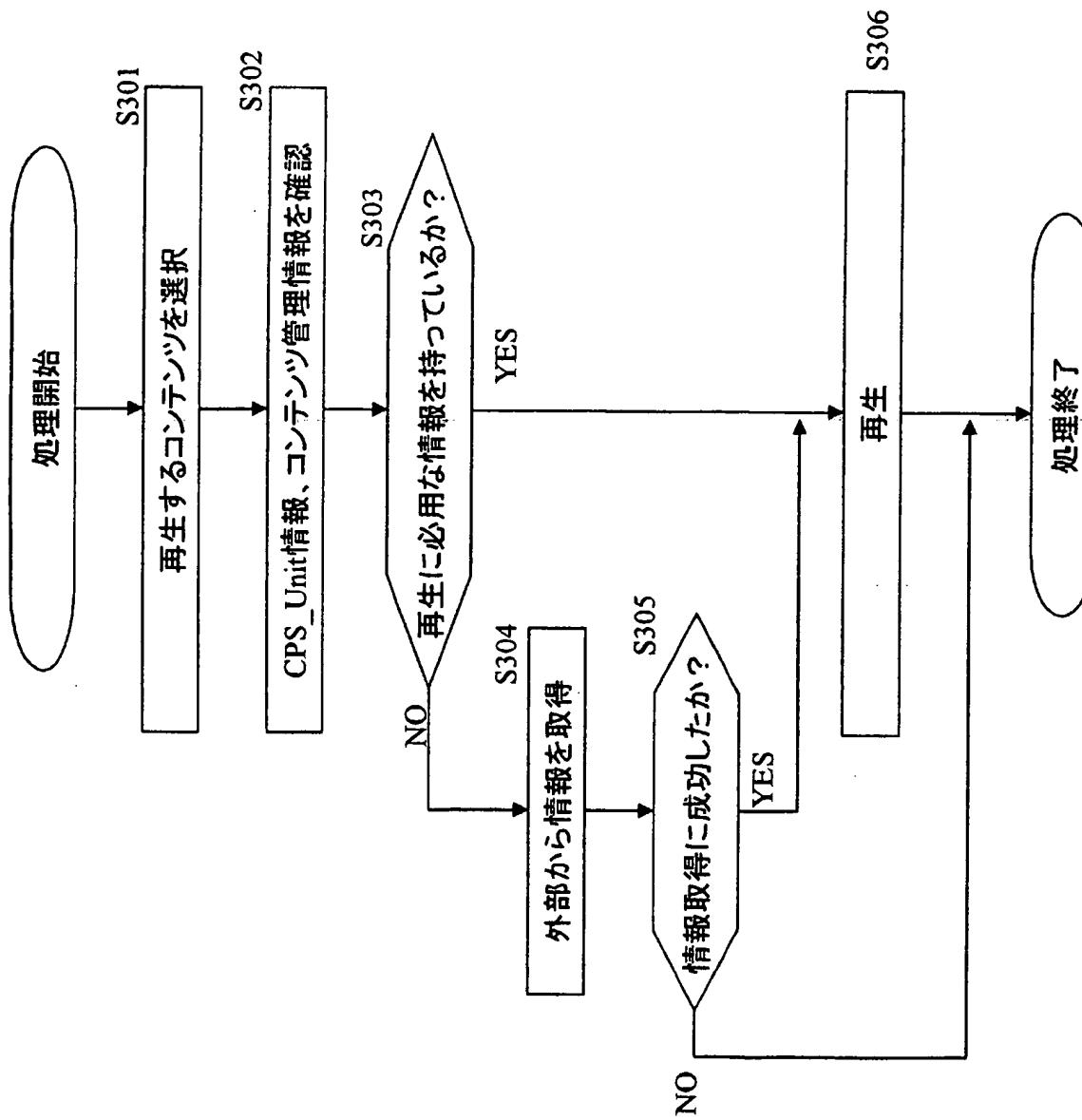
[図25]



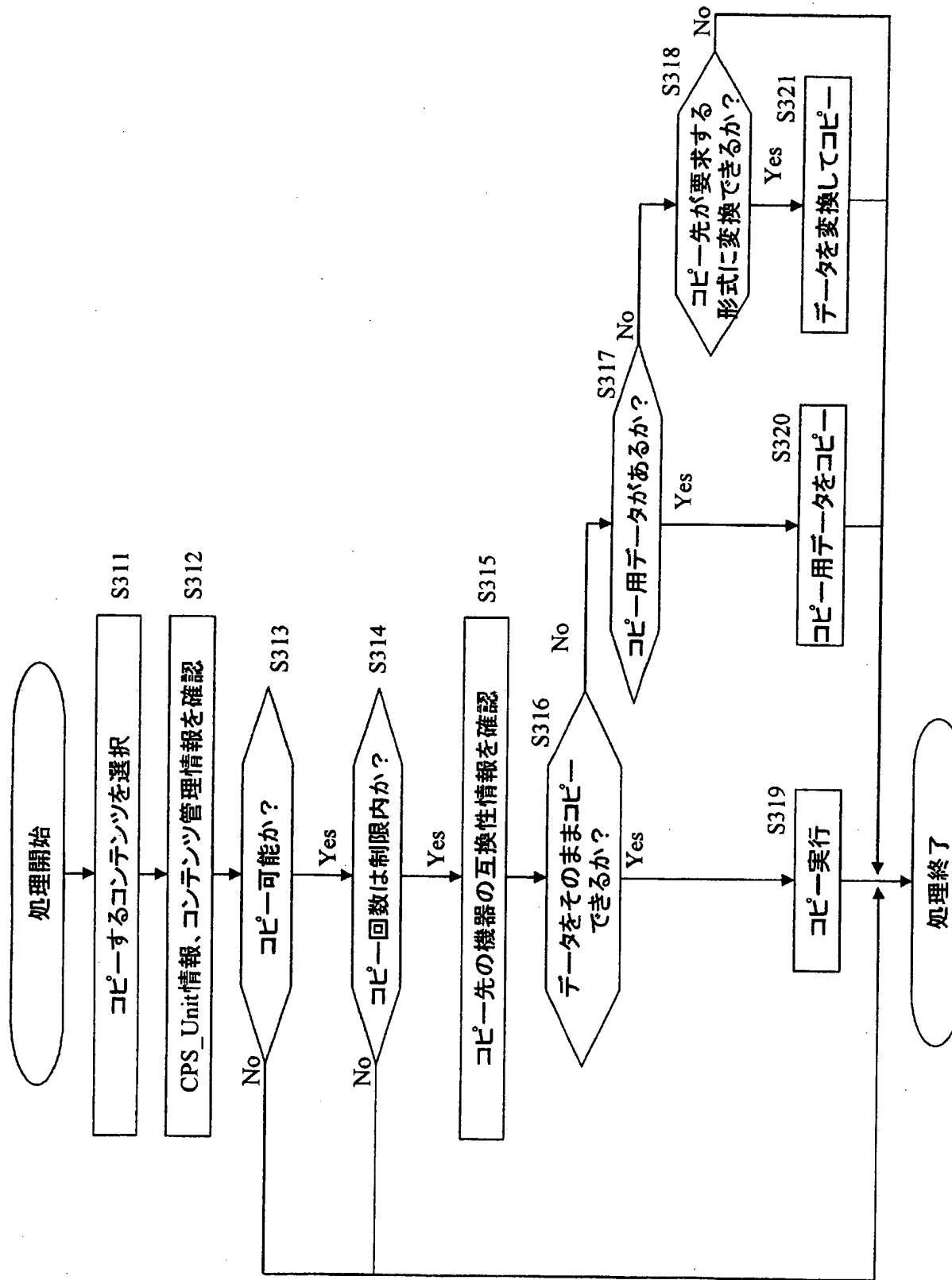
[図26]



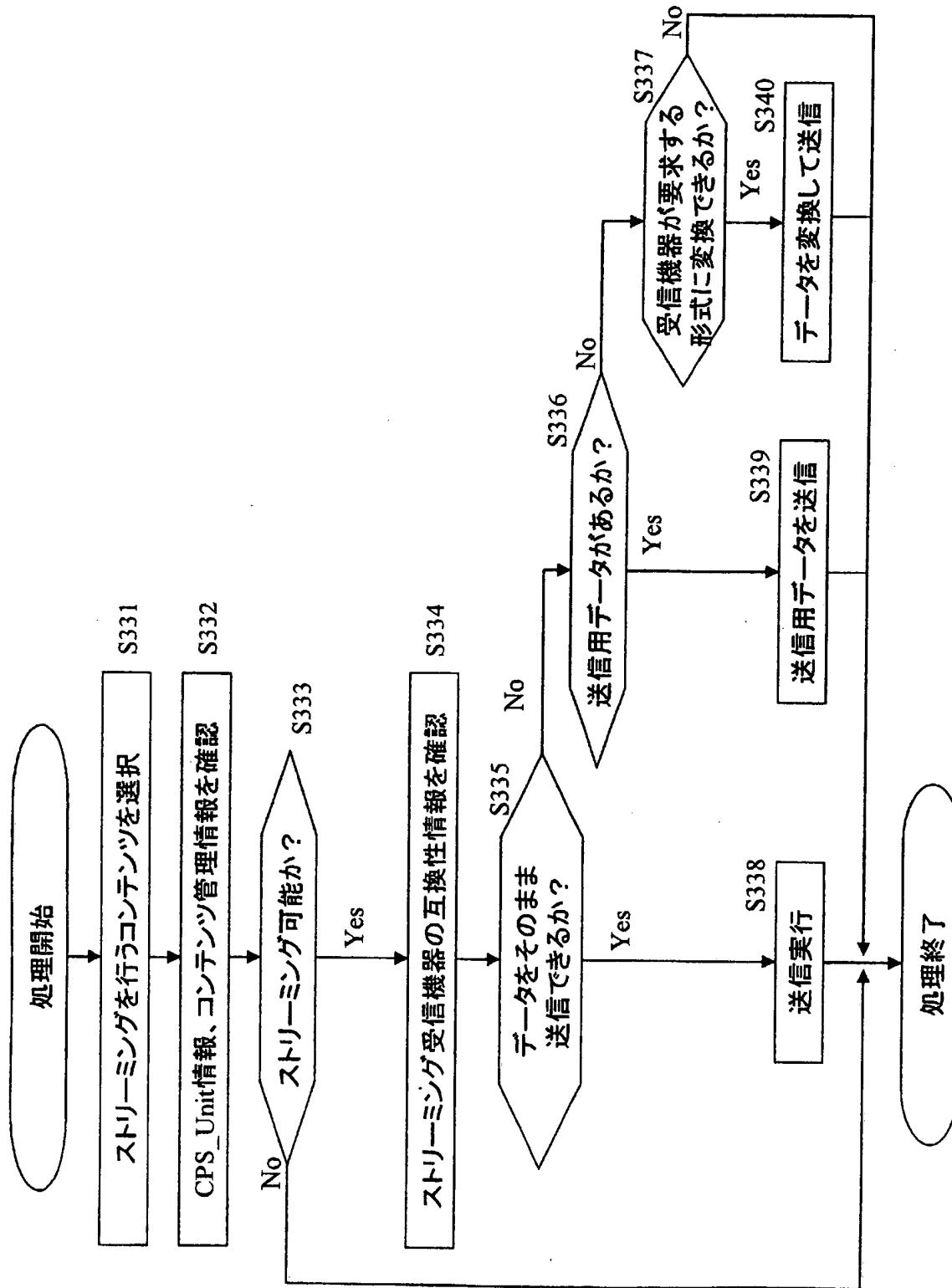
[図27]



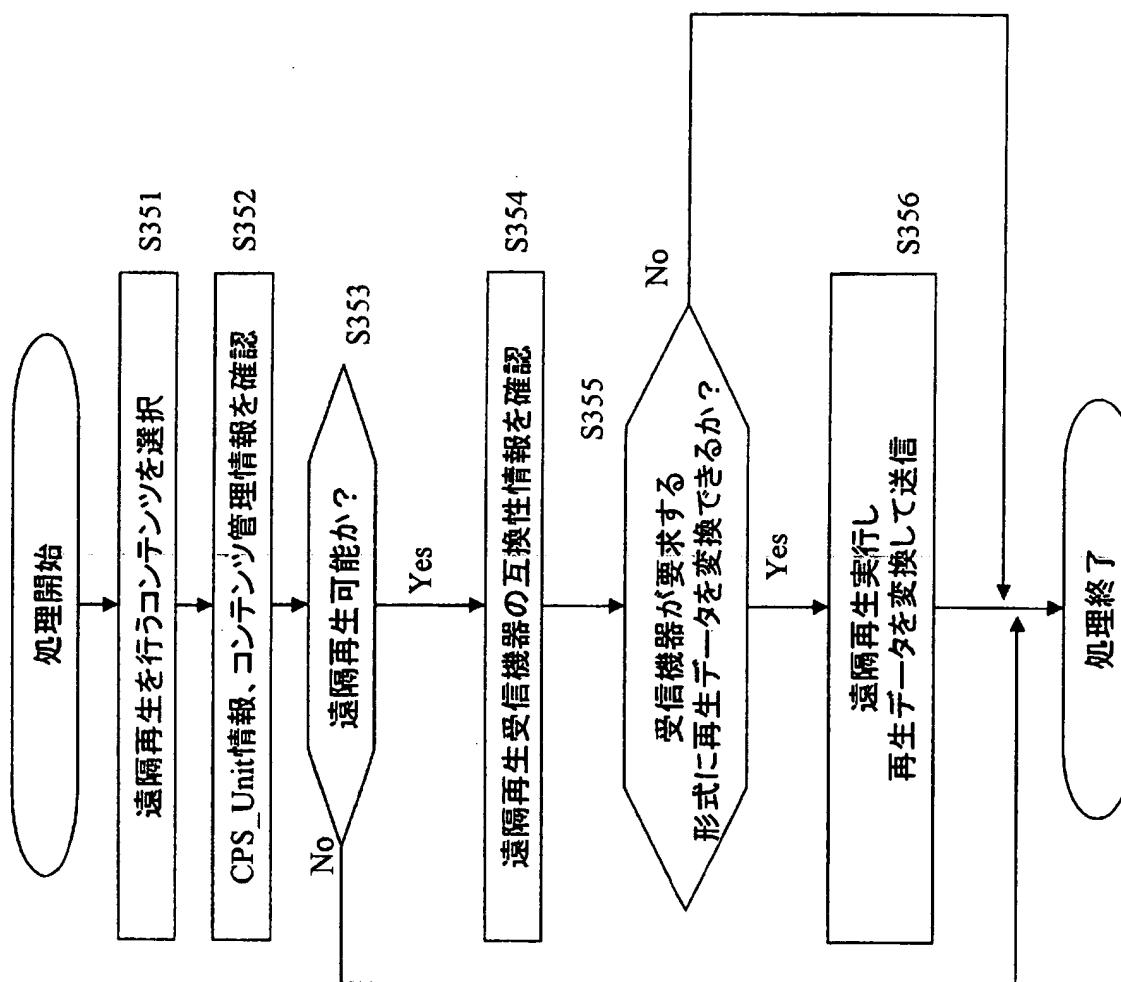
[図28]



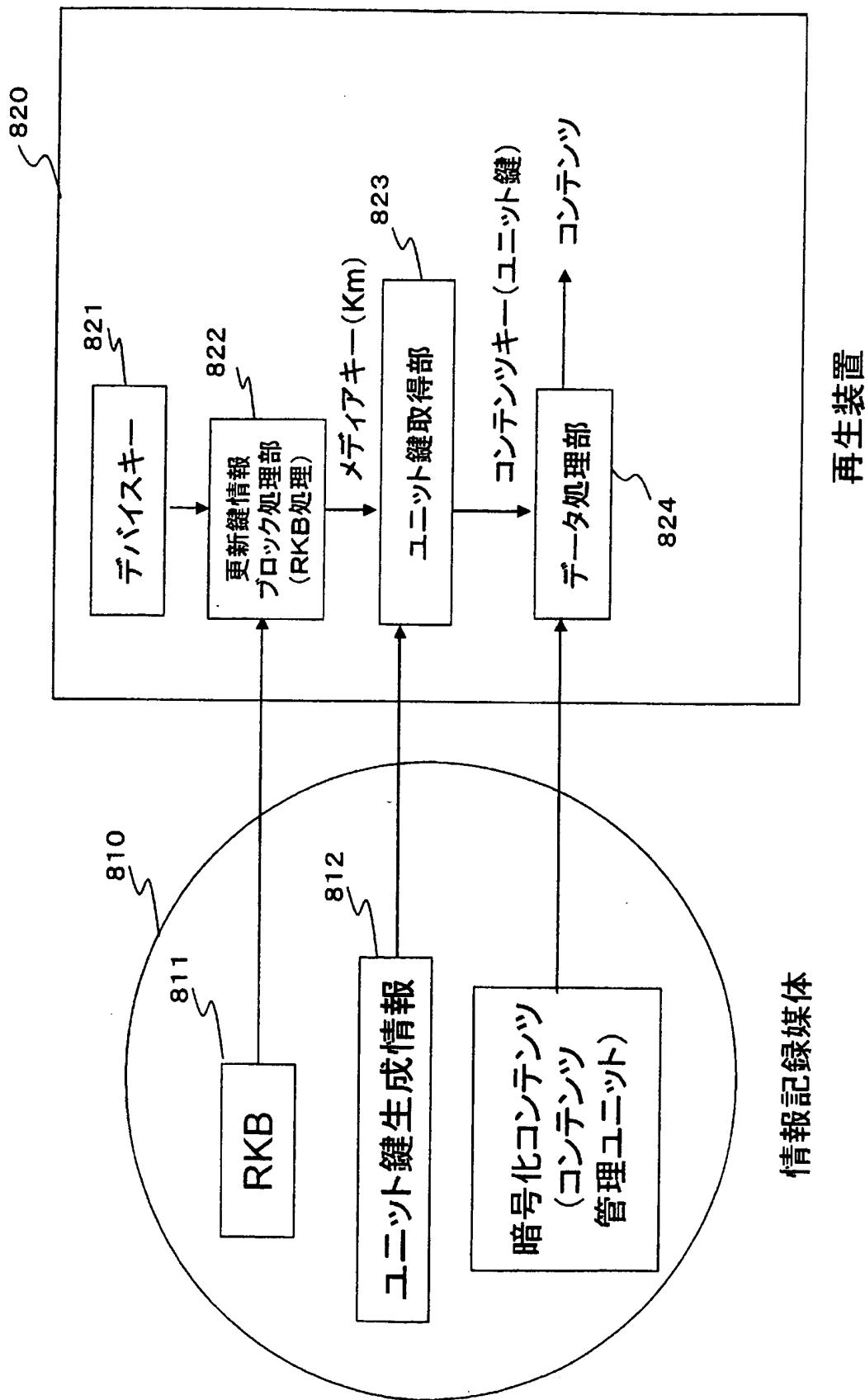
[図29]



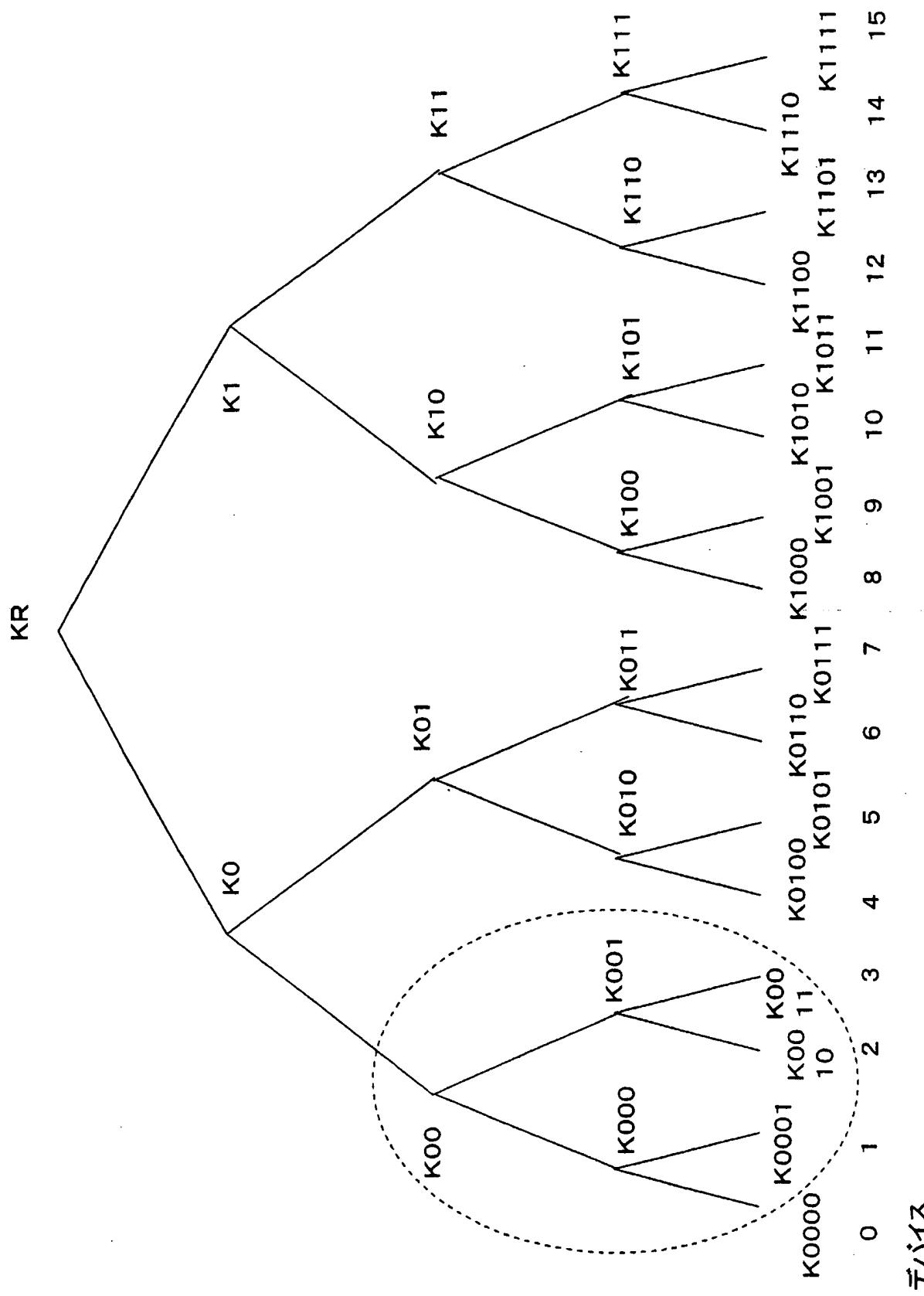
[図30]



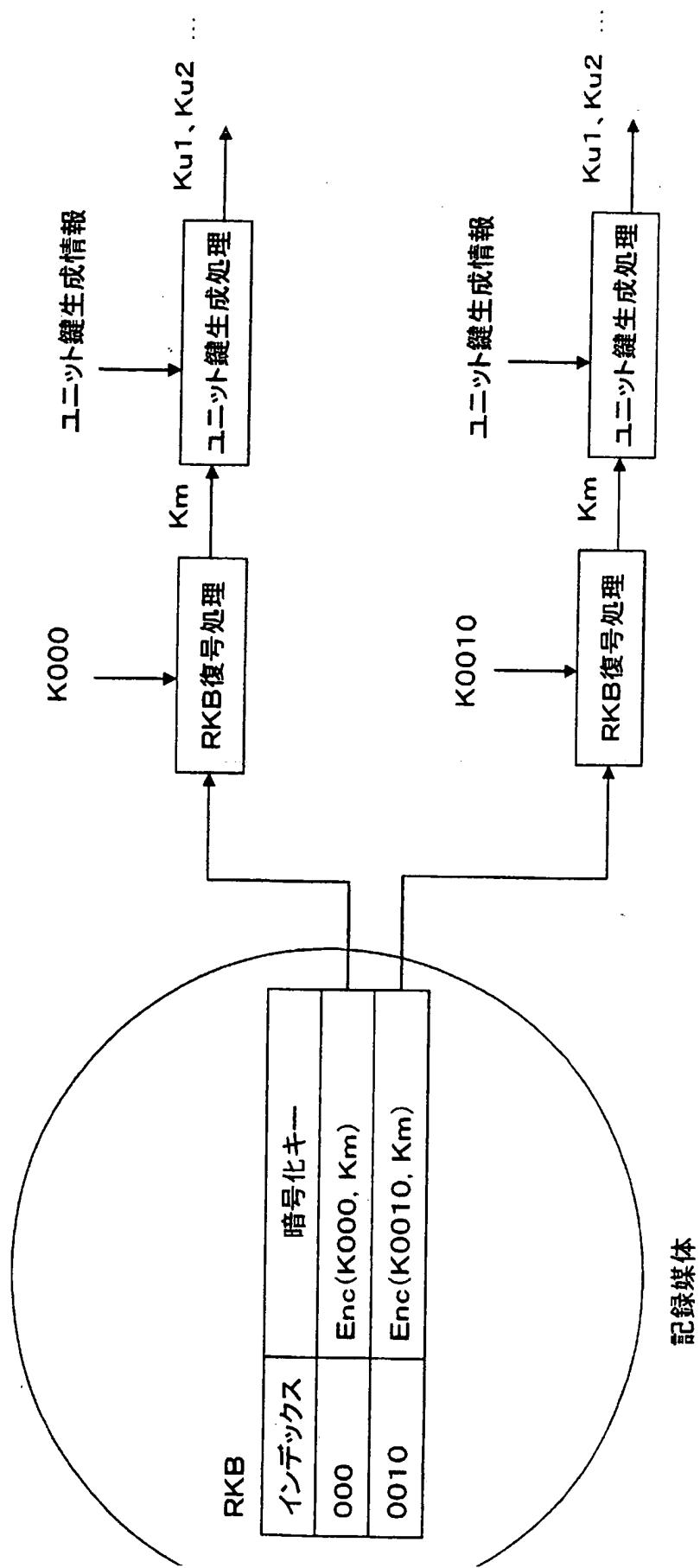
[図31]



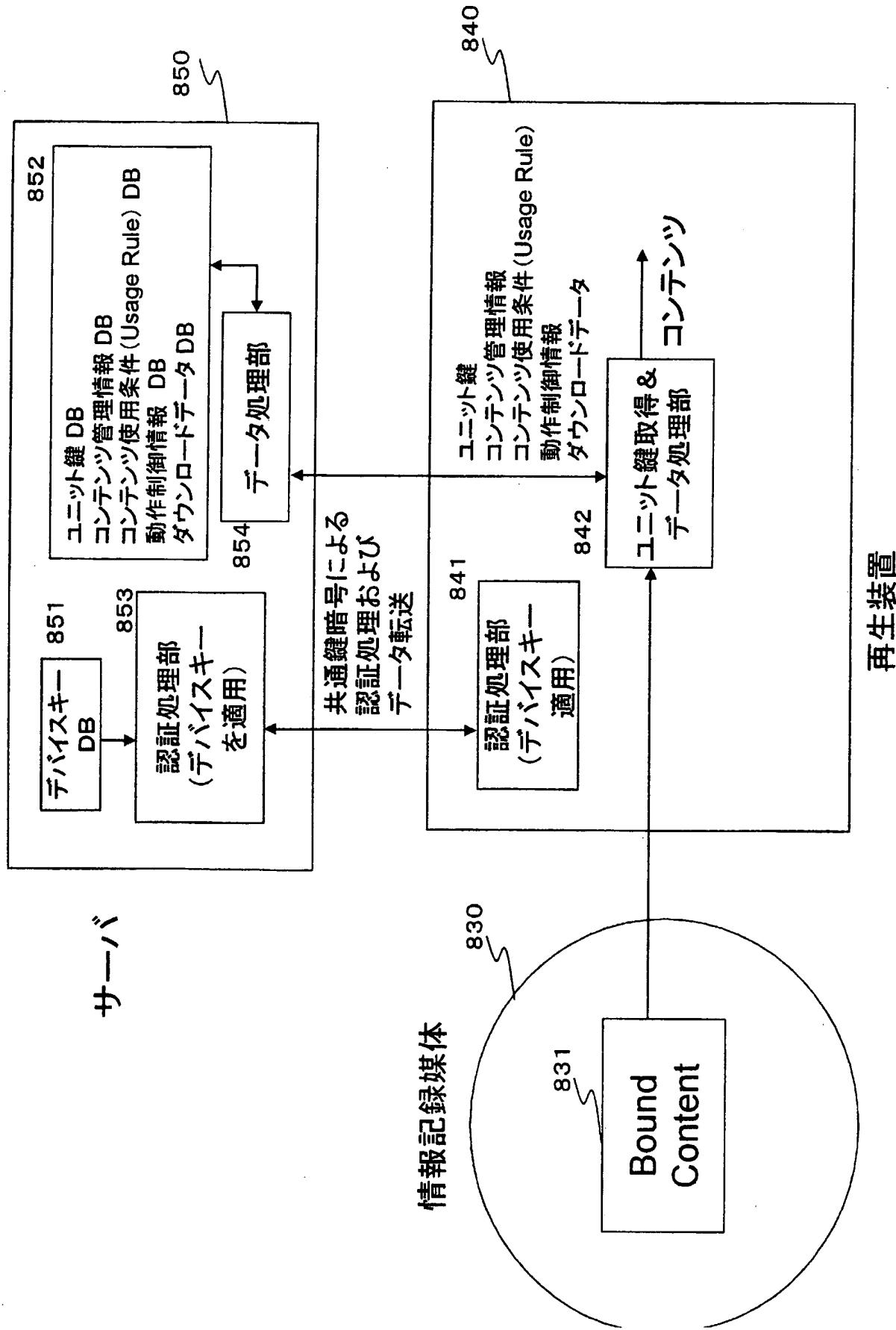
[図32]



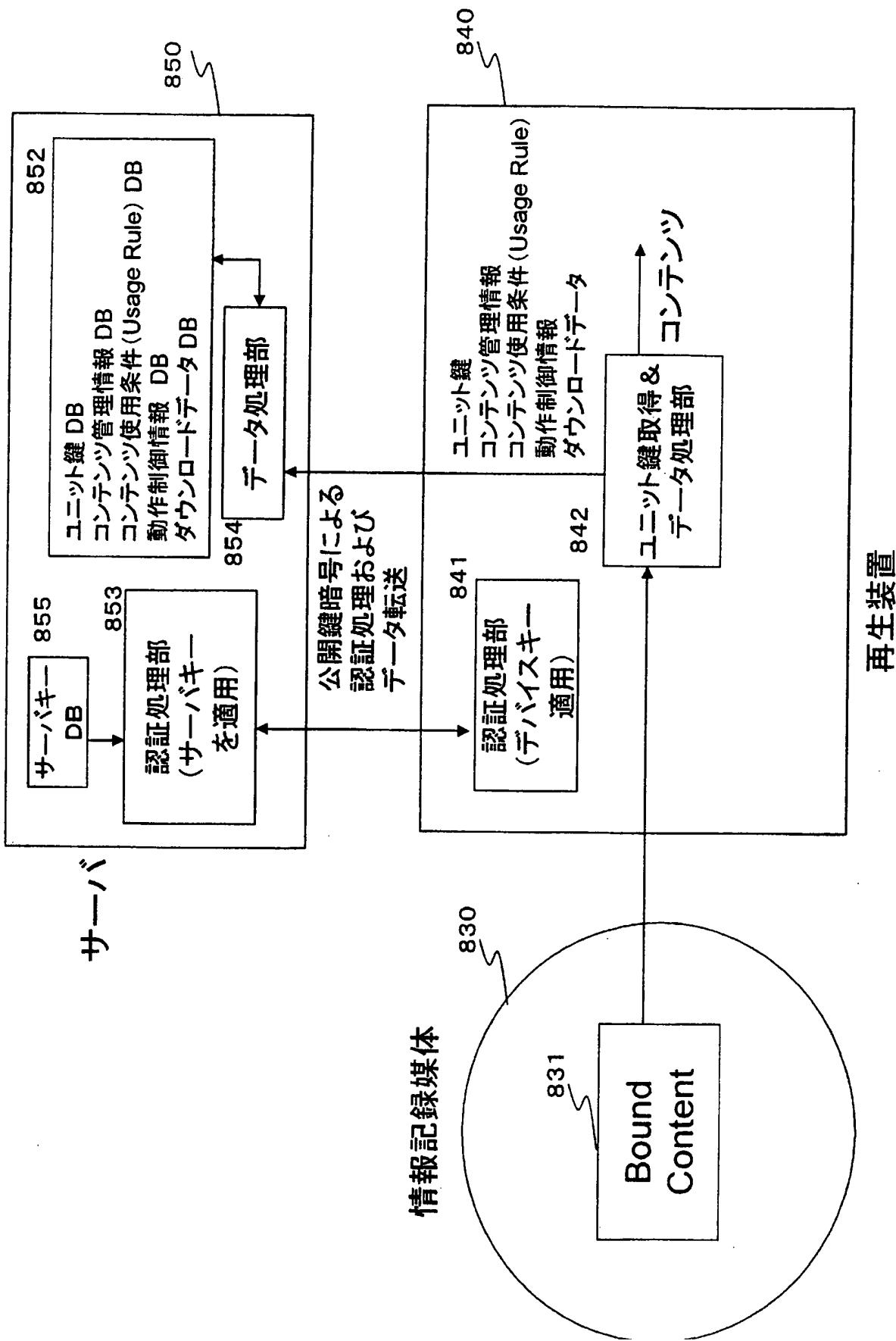
[図33]



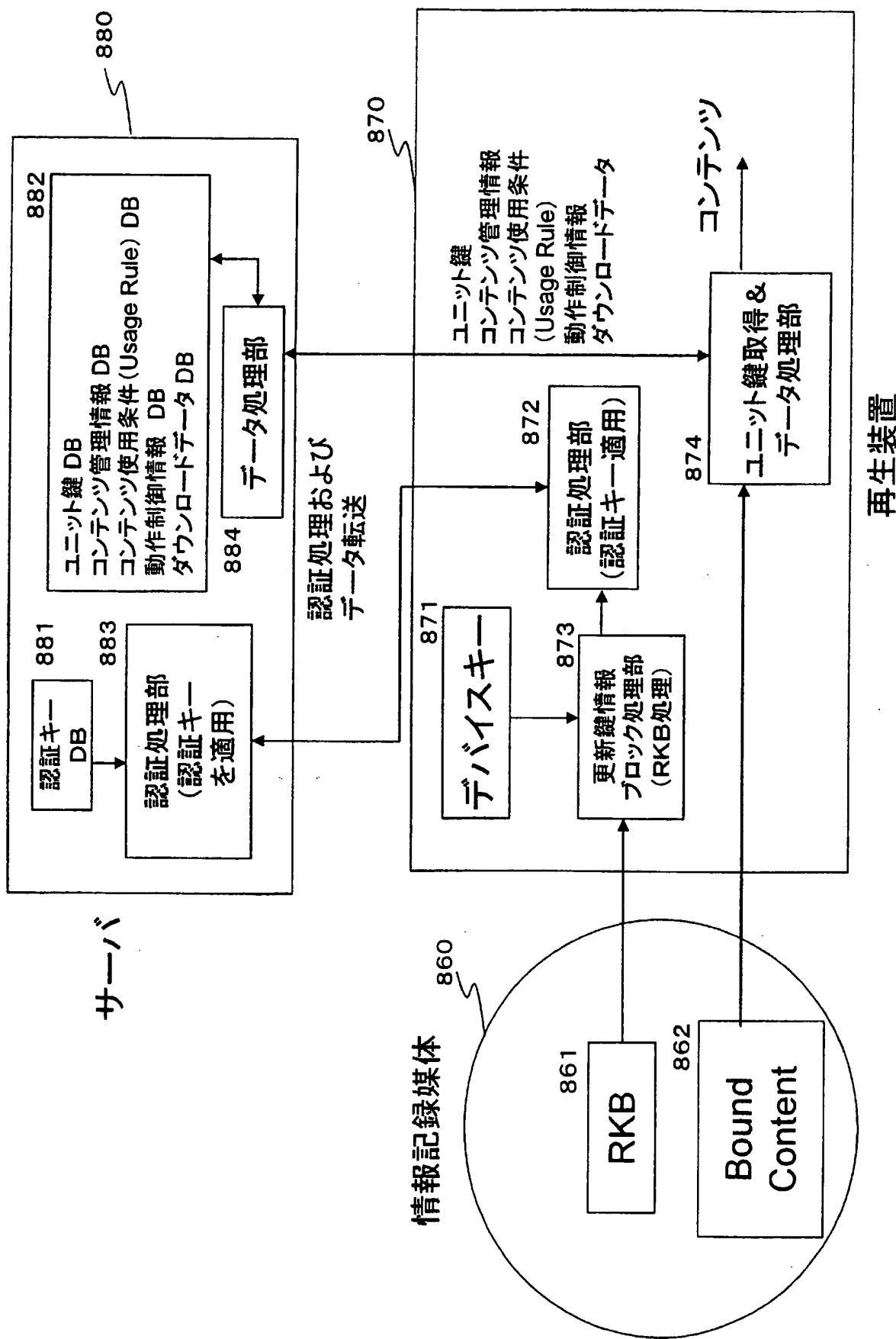
[图34]



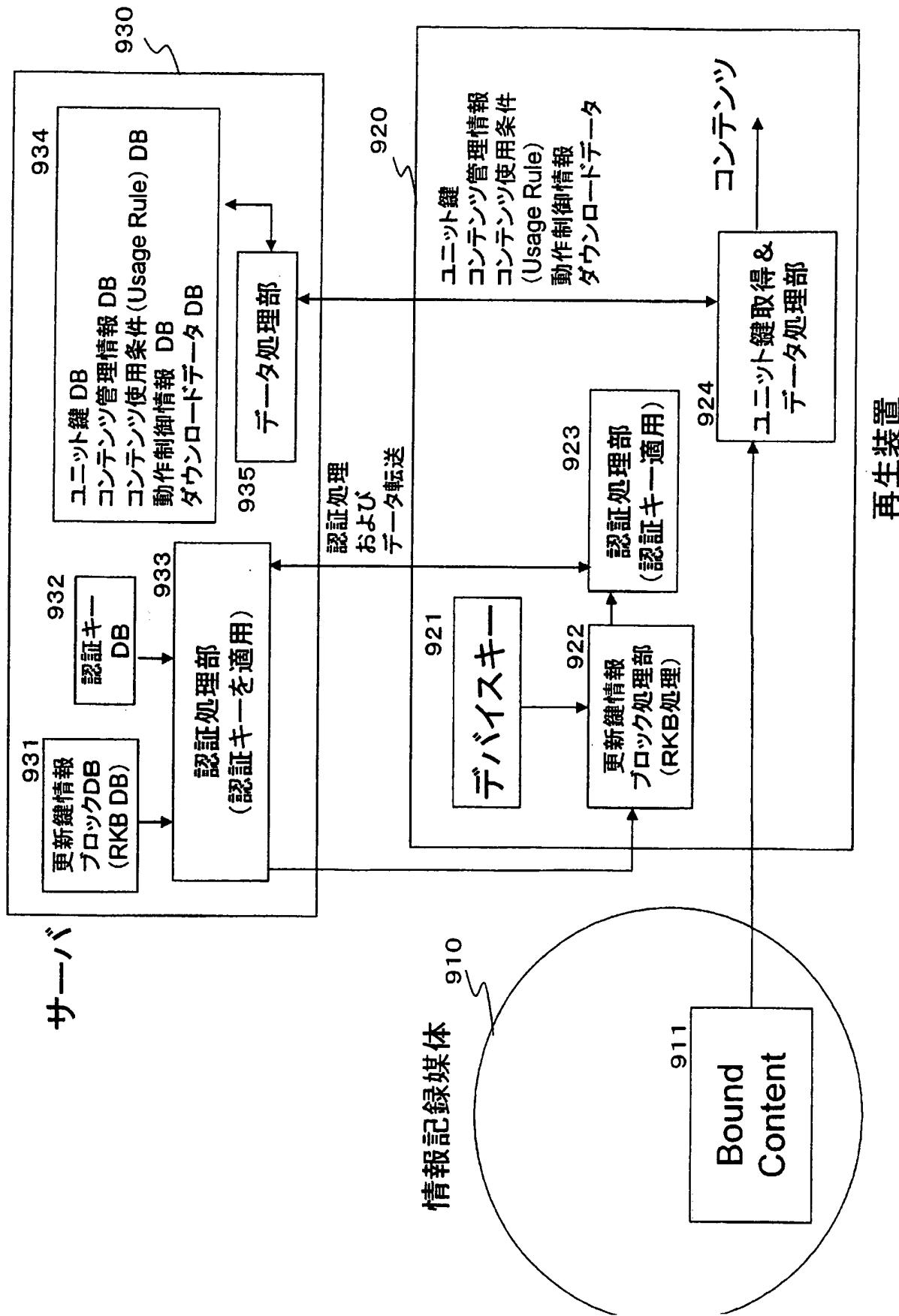
[図35]



[図36]



[図37]



## INTERNATIONAL SEARCH REPORT

International application No.

PCT/JP2004/011476

## A. CLASSIFICATION OF SUBJECT MATTER

Int.Cl<sup>7</sup> G06F12/14, H04L9/14, H04N7/16

According to International Patent Classification (IPC) or to both national classification and IPC

## B. FIELDS SEARCHED

Minimum documentation searched (classification system followed by classification symbols)

Int.Cl<sup>7</sup> G06F12/14, H04L9/14, H04N7/16

Documentation searched other than minimum documentation to the extent that such documents are included in the fields searched

Jitsuyo Shinan Koho	1922-1996	Jitsuyo Shinan Toroku Koho	1996-2004
Kokai Jitsuyo Shinan Koho	1971-2004	Toroku Jitsuyo Shinan Koho	1994-2004

Electronic data base consulted during the international search (name of data base and, where practicable, search terms used)

## C. DOCUMENTS CONSIDERED TO BE RELEVANT

Category*	Citation of document, with indication, where appropriate, of the relevant passages	Relevant to claim No.
X	JP 2001-257670 A (Hitachi, Ltd.), 21 September, 2001 (21.09.01), Par. No. [0006] & WO 2001/069844 A1	1-6, 8-11, 15, 17-21, 23-26, 29-31, 33-36, 39-43
Y		12-14, 16, 27-28, 37-38
A		7, 22, 32
X	Kenji HORIUCHI, Takatoshi YOSHIKAWA, 'The New Method of License Key Management for Content Distribution System-Key management for grouping content-', IEEE International Conference on consumer electronics 2003, 17 June, 2003 (17.06.03), pages 56 to 57	1-6, 8-11, 15, 17-21, 23-26, 29-31, 33-36, 39-43
Y		12-14, 16, 27-28, 37-38
A		7, 22, 32

 Further documents are listed in the continuation of Box C. See patent family annex.

## \* Special categories of cited documents:

- "A" document defining the general state of the art which is not considered to be of particular relevance
- "E" earlier application or patent but published on or after the international filing date
- "L" document which may throw doubts on priority claim(s) or which is cited to establish the publication date of another citation or other special reason (as specified)
- "O" document referring to an oral disclosure, use, exhibition or other means
- "P" document published prior to the international filing date but later than the priority date claimed

"T" later document published after the international filing date or priority date and not in conflict with the application but cited to understand the principle or theory underlying the invention

"X" document of particular relevance; the claimed invention cannot be considered novel or cannot be considered to involve an inventive step when the document is taken alone

"Y" document of particular relevance; the claimed invention cannot be considered to involve an inventive step when the document is combined with one or more other such documents, such combination being obvious to a person skilled in the art

"&" document member of the same patent family

Date of the actual completion of the international search  
28 October, 2004 (28.10.04)Date of mailing of the international search report  
16 November, 2004 (16.11.04)Name and mailing address of the ISA/  
Japanese Patent Office

Authorized officer

Facsimile No.

Telephone No.

**INTERNATIONAL SEARCH REPORT**

International application No.

PCT/JP2004/011476

**Box No. II      Observations where certain claims were found unsearchable (Continuation of item 2 of first sheet)**

This international search report has not been established in respect of certain claims under Article 17(2)(a) for the following reasons:

1.  Claims Nos.:  
because they relate to subject matter not required to be searched by this Authority, namely:
  
2.  Claims Nos.:  
because they relate to parts of the international application that do not comply with the prescribed requirements to such an extent that no meaningful international search can be carried out, specifically:
  
3.  Claims Nos.:  
because they are dependent claims and are not drafted in accordance with the second and third sentences of Rule 6.4(a).

**Box No. III      Observations where unity of invention is lacking (Continuation of item 3 of first sheet)**

This International Searching Authority found multiple inventions in this international application, as follows:

(See extra sheet.)

1.  As all required additional search fees were timely paid by the applicant, this international search report covers all searchable claims.
2.  As all searchable claims could be searched without effort justifying an additional fee, this Authority did not invite payment of any additional fee.
3.  As only some of the required additional search fees were timely paid by the applicant, this international search report covers only those claims for which fees were paid, specifically claims Nos.:
  
4.  No required additional search fees were timely paid by the applicant. Consequently, this international search report is restricted to the invention first mentioned in the claims; it is covered by claims Nos.:

**Remark on Protest**

The additional search fees were accompanied by the applicant's protest.

No protest accompanied the payment of additional search fees.

## A. 発明の属する分野の分類（国際特許分類（IPC））

Int. C17 G06F12/14, H04L9/14, H04N7/16

## B. 調査を行った分野

調査を行った最小限資料（国際特許分類（IPC））

Int. C17 G06F12/14, H04L9/14, H04N7/16

最小限資料以外の資料で調査を行った分野に含まれるもの

日本国実用新案公報	1922-1996年
日本国公開実用新案公報	1971-2004年
日本国実用新案登録公報	1996-2004年
日本国登録実用新案公報	1994-2004年

国際調査で使用した電子データベース（データベースの名称、調査に使用した用語）

## C. 関連すると認められる文献

引用文献の カテゴリー*	引用文献名 及び一部の箇所が関連するときは、その関連する箇所の表示	関連する 請求の範囲の番号
X	JP 2001-257670 A (株式会社日立製作所) 2001.09.21, 段落【000 6】 & WO 2001/069844 A1	1-6, 8-11, 15, 17-21, 23-26, 29-31, 33-36, 39-43
Y		12-14, 16, 27- 28, 37-38
A		7, 22, 32

 C欄の続きにも文献が列挙されている。 パテントファミリーに関する別紙を参照。

## \* 引用文献のカテゴリー

- 「A」特に関連のある文献ではなく、一般的技術水準を示すもの
- 「E」国際出願日前の出願または特許であるが、国際出願日以後に公表されたもの
- 「L」優先権主張に疑義を提起する文献又は他の文献の発行日若しくは他の特別な理由を確立するために引用する文献（理由を付す）
- 「O」口頭による開示、使用、展示等に言及する文献
- 「P」国際出願日前で、かつ優先権の主張の基礎となる出願

## の日の後に公表された文献

- 「T」国際出願日又は優先日後に公表された文献であって出願と矛盾するものではなく、発明の原理又は理論の理解のために引用するもの
- 「X」特に関連のある文献であって、当該文献のみで発明の新規性又は進歩性がないと考えられるもの
- 「Y」特に関連のある文献であって、当該文献と他の1以上の文献との、当業者にとって自明である組合せによって進歩性がないと考えられるもの
- 「&」同一パテントファミリー文献

国際調査を完了した日

28. 10. 2004

国際調査報告の発送日

16.11.2004

国際調査機関の名称及びあて先

日本国特許庁 (ISA/JP)

郵便番号100-8915

東京都千代田区霞が関三丁目4番3号

特許庁審査官（権限のある職員）

平井 誠

5N 9071

電話番号 03-3581-1101 内線 3545

## 第II欄 請求の範囲の一部の調査ができないときの意見 (第1ページの2の続き)

法第8条第3項 (PCT17条(2)(a)) の規定により、この国際調査報告は次の理由により請求の範囲の一部について作成しなかった。

1.  請求の範囲 \_\_\_\_\_ は、この国際調査機関が調査をすることを要しない対象に係るものである。つまり、
2.  請求の範囲 \_\_\_\_\_ は、有意義な国際調査をすることができる程度まで所定の要件を満たしていない国際出願の部分に係るものである。つまり、
3.  請求の範囲 \_\_\_\_\_ は、従属請求の範囲であってPCT規則6.4(a)の第2文及び第3文の規定に従って記載されていない。

## 第III欄 発明の単一性が欠如しているときの意見 (第1ページの3の続き)

次に述べるようにこの国際出願に二以上の発明があるとこの国際調査機関は認めた。  
特別ページ参照。

1.  出願人が必要な追加調査手数料をすべて期間内に納付したので、この国際調査報告は、すべての調査可能な請求の範囲について作成した。
2.  追加調査手数料を要求するまでもなく、すべての調査可能な請求の範囲について調査することができたので、追加調査手数料の納付を求めなかった。
3.  出願人が必要な追加調査手数料を一部のみしか期間内に納付しなかったので、この国際調査報告は、手数料の納付のあった次の請求の範囲のみについて作成した。
4.  出願人が必要な追加調査手数料を期間内に納付しなかったので、この国際調査報告は、請求の範囲の最初に記載されている発明に係る次の請求の範囲について作成した。

## 追加調査手数料の異議の申立てに関する注意

追加調査手数料の納付と共に出願人から異議申立てがあった。  
 追加調査手数料の納付と共に出願人から異議申立てがなかった。